

急性呼吸器感染症サーベイランス週報:

2025 年第 18 週(2025 年 4 月 28 日~2025 年 5 月 4 日)

Acute Respiratory Infection Surveillance Weekly Report: Epidemiologic Situational Awareness

Week 18, 2025

本報は全国から報告された急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection、以下、ARI という)のサーベイランス報告を精査してまとめています。ARI、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、小児科および内科からなる急性呼吸器感染症定点から、RS ウイルス感染症、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、小児科定点から報告されています。週ごとの「傾向(トレンド)」と「水準(レベル)」を踏まえ、感染の流行の状況について、解釈を行っています。地方自治体等で感染症対策に従事する皆様や国民の皆様に、広く疫学情報を提供・還元することを目的としています。巻末に本報に関する注意事項を記載してあります。なお報告数は暫定値であり、変更の可能性があることにご注意下さい。

今週の状況(概要):

2025 年第 18 週(4 月 28 日~5 月 4 日)における ARI の定点当たり報告数は 56.51(報告数 214,921 例)であり、前週(4 月 21 日~4 月 27 日)に比較して減少した。各感染症の定点当たり報告数では、インフルエンザが 0.79、COVID-19 は 1.10、RS ウイルス感染症は 0.50、咽頭結膜熱は 0.39、ヘルパンギーナは 0.02、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 2.29 であった。前週に比較してインフルエンザは減少、COVID-19 は減少、RS ウイルス感染症は減少、咽頭結膜熱は横ばい、ヘルパンギーナは減少、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少した。

年齢群別にみると、報告数が最も多かった年齢群は前週と比較して上記の全ての感染症で変わりなかった。定点当たり報告数が 80 を上回った都道府県は 3 件であった。定点当たり報告数が多かった上位 3 都道府県は、インフルエンザでは沖縄県、秋田県、香川県、COVID-19 では新潟県、長野県、岐阜県、RS ウイルス感染症では高知県、新潟県/沖縄県、鹿児島県、咽頭結膜熱では宮崎県、鹿児島県、島根県、ヘルパンギーナでは鹿児島県/沖縄県、島根県、秋田県/佐賀県、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎では茨城県、宮城県、鳥取県であった。新規入院患者数を見ると、インフルエンザは 73 例で前週と比較して 16 例減少した。COVID-19 は 591 例で前週と比較して 13 例増加した。

2025 年第 18 週(4 月 28 日~5 月 4 日)に検体が採取され、病原体サーベイランスとして報告された病原体の陽性数は、インフルエンザウイルス A 型が 0 件、インフルエンザウイルス B 型が 2 件、SARS-CoV-2 が 3 件、RS ウイルスが 2 件であった。

目次	
今週の状況(概要):	1
1. 患者サーベイランス	3
1.1. 全国の定点当たり報告数	3
1.2. 全国の年齢群別報告数.....	5
1.3. 都道府県別の定点当たり報告数.....	8
1.4. 全国のインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数.....	21
2. 病原体サーベイランスの状況.....	22
2.1. 全国の病原体別報告数.....	22
2.2. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス	26
参考: 検体採取週ごとの全自動遺伝子解析装置等による検査結果	27
注意事項	28
地域の定義	28
参考サイト.....	29
参考: 各感染症の週ごとの都道府県別定点当たり報告数.....	30

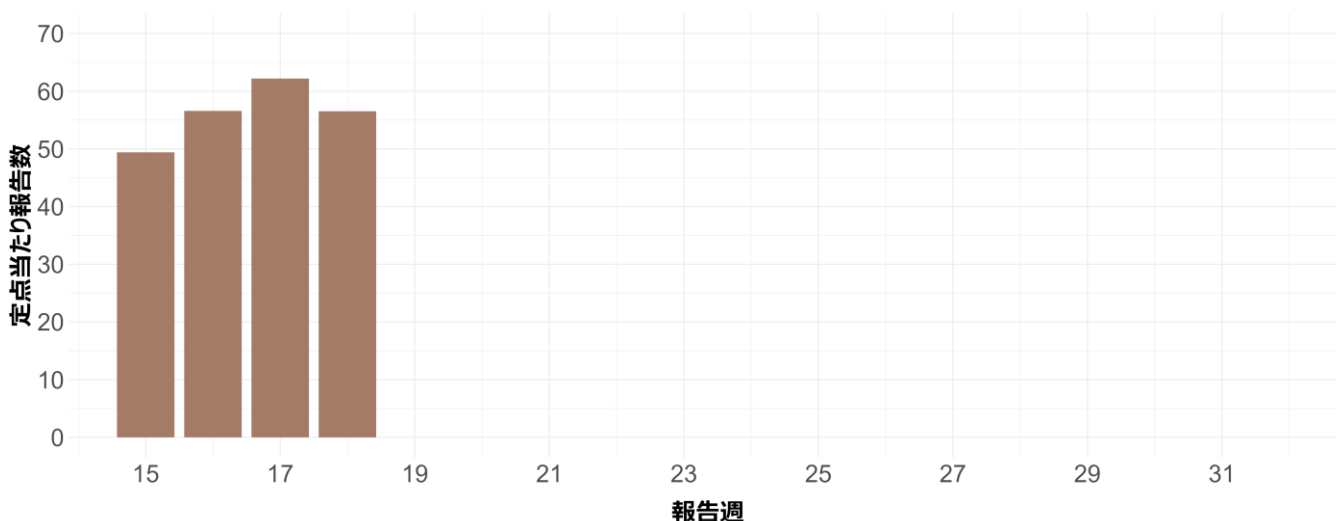
1. 患者サーベイランス

1.1. 全国の定点当たり報告数

2025年第18週(4月28日～5月4日)におけるARIは、3,803カ所の急性呼吸器感染症定点から報告され、定点当たり報告数は56.51(報告数214,921例)であった(図1)。前週比は0.91であった。急性呼吸器感染症定点から報告されたインフルエンザは0.79(報告数3,039例)、COVID-19は1.10(報告数4,227例)であった(図1A)。なお、報告定点数は3,828カ所であった。

小児科定点から報告されたRSウイルス感染症は0.50(報告数1,160例)、咽頭結膜熱は0.39(報告数919例)、ヘルパンギーナは0.02(報告数44例)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2.29(報告数5,350例)であった(図1B)。なお、報告定点数は2,337カ所であった。前週(4月21日～4月27日)に比較してインフルエンザは減少、COVID-19は減少、RSウイルス感染症は減少、咽頭結膜熱は横ばい、ヘルパンギーナは減少、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少した。

図1: 週ごとのARIの定点当たり報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月7日～2025年5月4日)

図 1A: 週ごとのインフルエンザおよび COVID-19 の定点当たり報告数

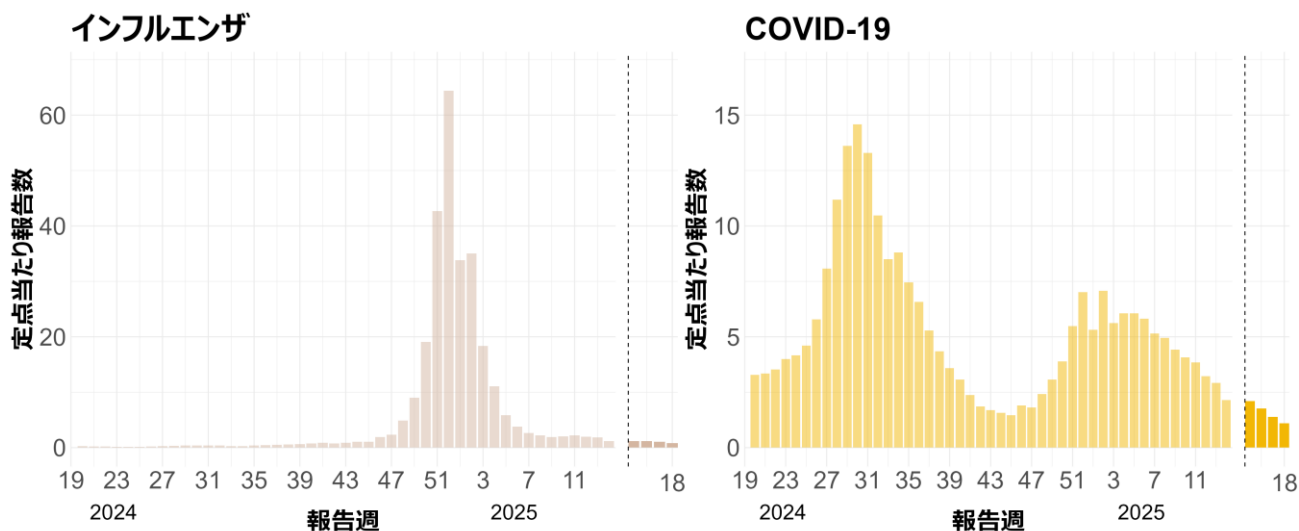
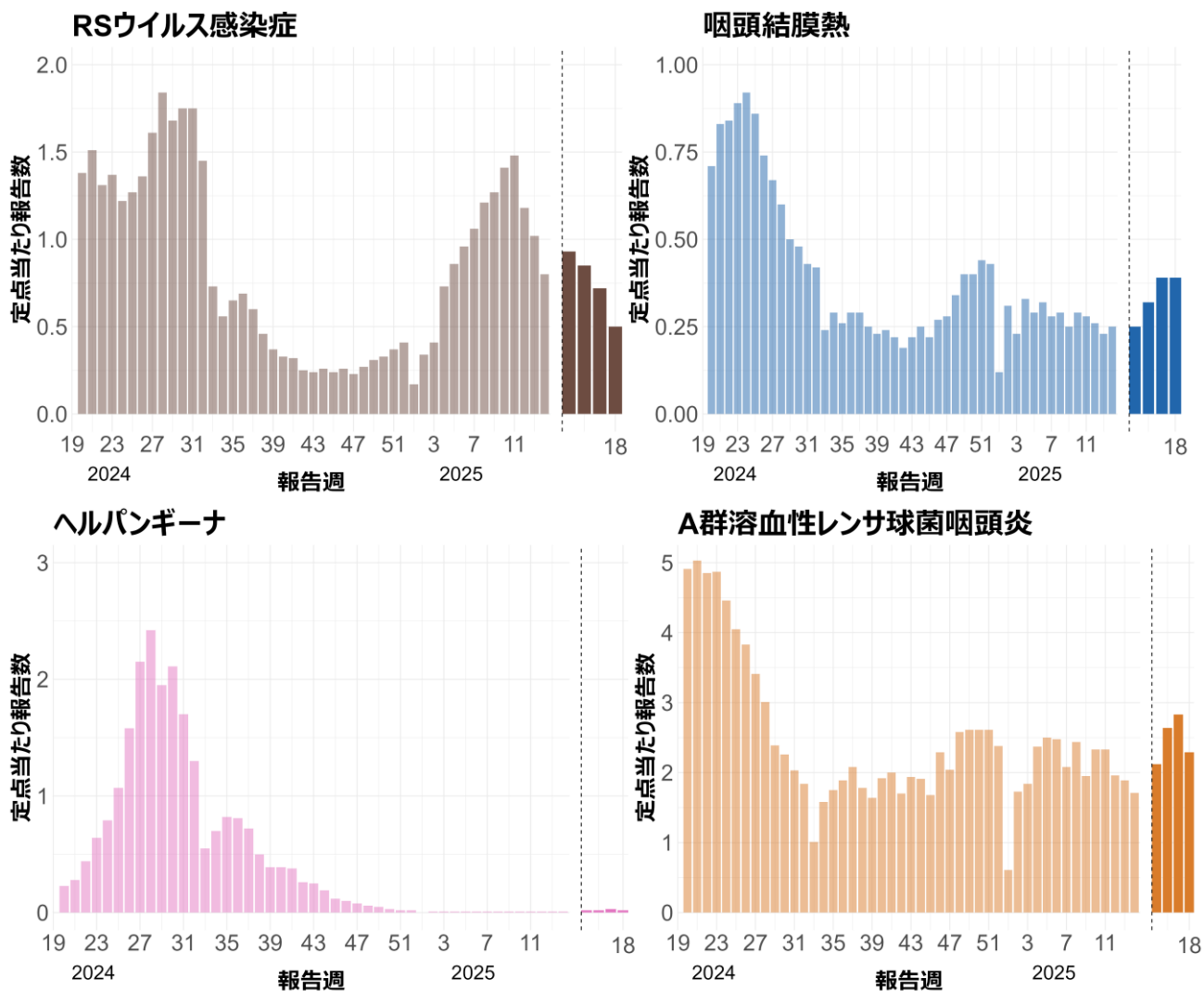


図 1B: 週ごとの感染症別の定点当たり報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2024年5月6日~2025年5月4日)

注)報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

注)定点数の変更をうけて、2025年第14週と第15週の間にスペースと点線を入れ、棒グラフに濃淡をつけて区別している。

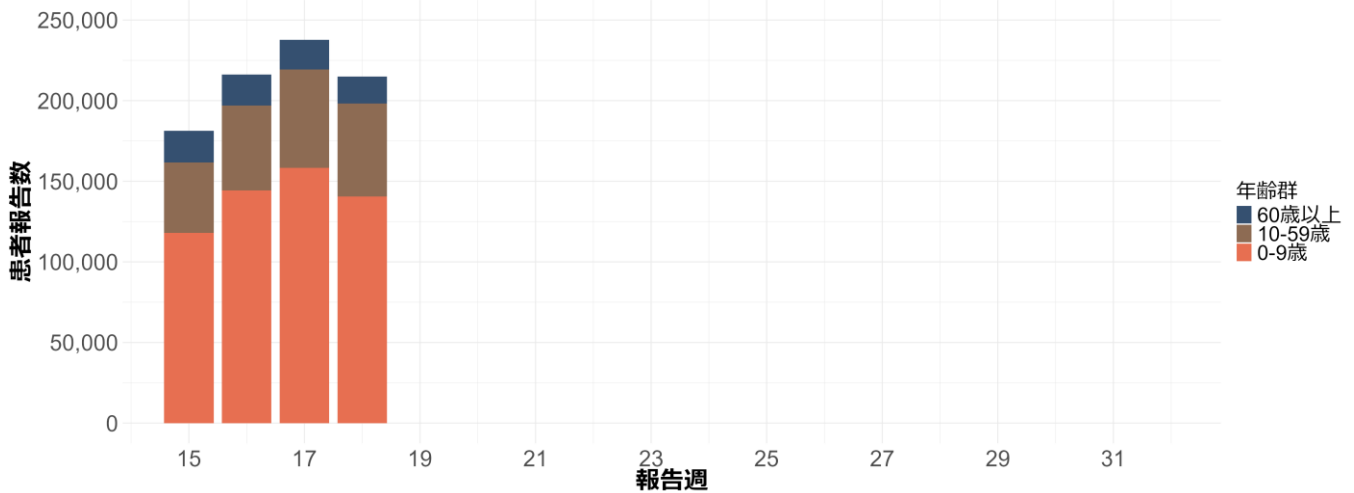
注)2025年4月7日(第15週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19定点(約5,000医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約3,000医療機関)に変更、小児科定点は約3,000医療機関から約2,000医療機関に変更された。

1.2. 全国の年齢群別報告数

2025年第18週に定点から報告されたARIの報告数を年齢群別にみると、0-9歳では140,480例(前週比0.89)、10-59歳では57,721例(前週比0.95)、60歳以上は16,720例(前週比0.91)であった(図2)。

各感染症の年齢群別報告数の推移をみると、インフルエンザとCOVID-19は全ての年齢群で減少した(表1A)。RSウイルス感染症は全ての年齢群で減少した。咽頭結膜熱は0歳では増加、1-4歳では横ばい、5-14歳では減少、15歳以上では増加した。ヘルパンギーナは0歳、1-4歳、5-14歳では減少、15歳以上では横ばいであった(表1B)。週ごとの年齢群別報告数を図2Aおよび2Bに示す。

図2: 週ごとのARIの年齢群別報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年5月4日)

図 2A: 週ごとのインフルエンザおよび COVID-19 の年齢群別報告数

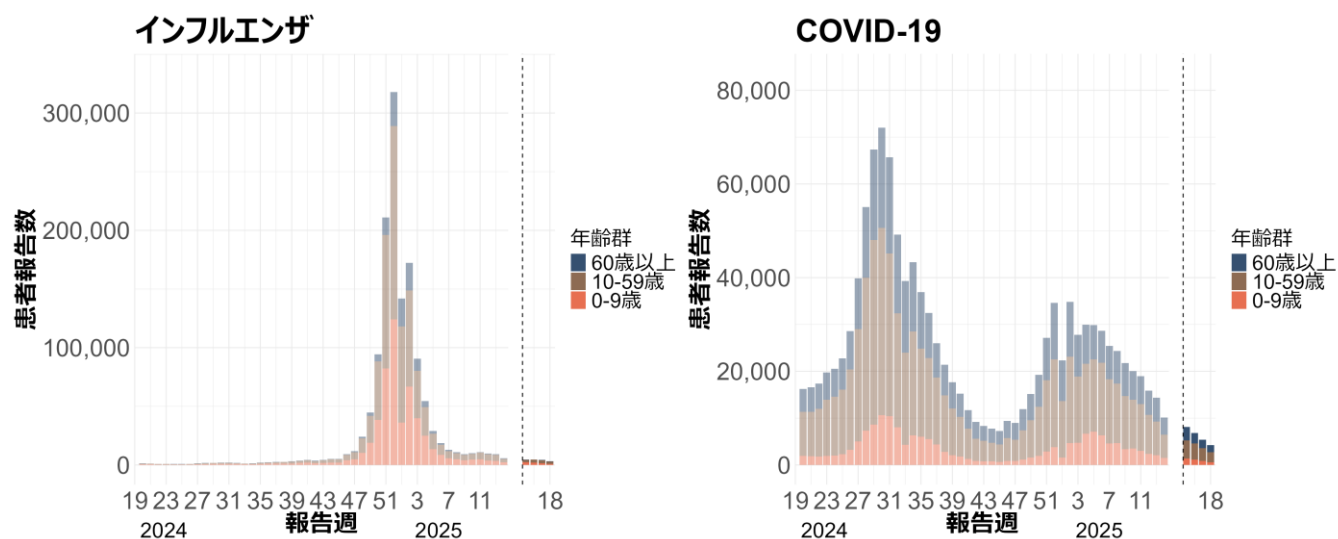
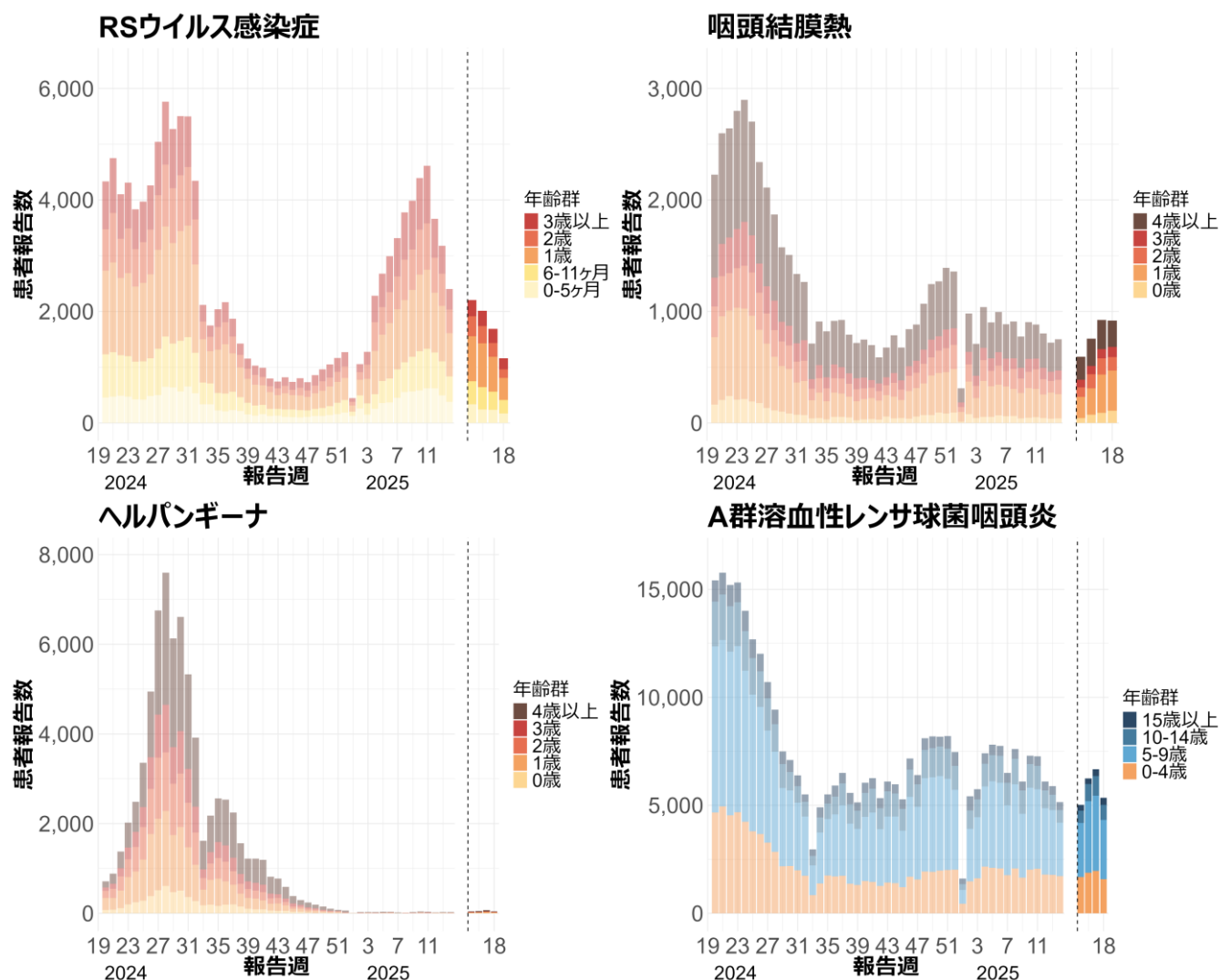


図 2B: 週ごとの感染症別の年齢群別報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2024年5月6日~2025年5月4日)

注)報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

注)定点数の変更をうけて、2025年第14週と第15週の間にスペースと点線を入れ、棒グラフに濃淡をつけて区別している。

注)2025年4月7日(第15週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点(約5,000医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約3,000医療機関)に変更、小児科定点は約3,000医療機関から約2,000医療機関に変更された。

表 1A: 当該週におけるインフルエンザおよび COVID-19 の年齢群別報告数

年齢群	インフルエンザ	COVID-19
0-9 歳	922 (0.58)	548 (0.64)
10-59 歳	1,989 (0.82)	2,190 (0.79)
60 歳以上	128 (0.68)	1,489 (0.85)
計	3,039 (0.72)	4,227 (0.79)

表 1B: 当該週における感染症別の年齢群別報告数

年齢群	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
0 歳	411 (0.73)	111 (1.21)	6 (0.67)	40 (0.89)
1-4 歳	692 (0.66)	636 (1.00)	27 (0.79)	1,534 (0.80)
5-14 歳	48 (0.74)	156 (0.84)	10 (0.43)	3,450 (0.79)
15 歳以上	9 (0.64)	16 (1.33)	1 (1.00)	326 (1.02)

年齢群	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
計	1,160	919	44	5,350
	(0.69)	(1.00)	(0.66)	(0.80)

出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月28日~2025年5月4日)

注)カッコ内の数値は前週比であり、前週の報告数は当該週のIDWRで還元したデータを用いた。

注)前週の報告数が0であった場合は、前週比の欄に「—」と表記する。

1.3. 都道府県別の定点当たり報告数

2025年第18週のARIの定点当たり報告数の上位3都道府県は、栃木県が89.43で最も多く、次いで岩手県が84.91、さらに群馬県が81.44であった(表2)。定点当たり報告数が80を上回った都道府県は3件であった(図3A)。定点当たり報告数は29.87~89.43であった。

定点当たり報告数が多かった上位3都道府県は、インフルエンザでは沖縄県、秋田県、香川県であった。COVID-19では新潟県、長野県、岐阜県であった。RSウイルス感染症では高知県、新潟県/沖縄県、鹿児島県であった。咽頭結膜熱では宮崎県、鹿児島県、島根県であった。ヘルパンギーナでは鹿児島県/沖縄県、島根県、秋田県/佐賀県であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では茨城県、宮城県、鳥取県であった。インフルエンザおよびCOVID-19の定点当たり報告数が10を上回った都道府県は報告されなかった(図3B、表3)。

表2: 当該週における都道府県別ARIの定点当たり報告数

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
北海道	9,607	58.58	0.93
青森県	2,839	54.60	0.92
岩手県	3,736	84.91	0.89
宮城県	4,213	78.02	0.97
秋田県	1,381	55.24	0.89
山形県	2,624	72.89	0.79
福島県	3,323	69.23	0.89
茨城県	4,187	61.57	0.81
栃木県	4,203	89.43	0.85
群馬県	3,665	81.44	0.94

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
埼玉県	13,019	77.96	0.94
千葉県	10,821	64.41	0.82
東京都	20,711	50.03	0.85
神奈川県	14,015	60.67	0.82
新潟県	3,449	67.63	0.96
富山県	3,370	70.21	0.83
石川県	2,466	51.38	0.91
福井県	1,670	42.82	0.83
山梨県	1,394	39.83	0.87
長野県	4,604	57.55	0.92
岐阜県	2,180	48.44	1.22
静岡県	6,287	45.23	0.99
愛知県	11,413	70.45	0.90
三重県	2,698	38.00	0.81
滋賀県	3,110	53.62	0.93
京都府	3,426	53.53	0.93
大阪府	11,490	39.35	0.92
兵庫県	8,397	52.16	0.91
奈良県	1,790	43.66	0.96
和歌山県	1,989	45.20	0.96
鳥取県	1,603	55.28	0.98
島根県	1,261	63.05	1.11
岡山県	3,356	67.12	0.87
広島県	4,550	48.40	0.93
山口県	4,066	64.54	0.98
徳島県	1,374	40.41	0.90

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
香川県	2,215	55.38	1.03
愛媛県	2,803	73.76	0.93
高知県	1,135	29.87	0.93
福岡県	5,296	43.77	0.90
佐賀県	1,379	59.96	0.96
長崎県	3,308	64.86	0.96
熊本県	3,789	51.90	1.01
大分県	3,248	56.00	1.03
宮崎県	1,459	52.11	0.99
鹿児島県	3,375	59.21	0.97
沖縄県	2,627	58.38	0.96

出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月28日~2025年5月4日)

注)前週の報告数は、当該週のIDWRで還元したデータを用いた。
注)前週の報告数が0であった場合は、前週比の欄に「—」と表記する。

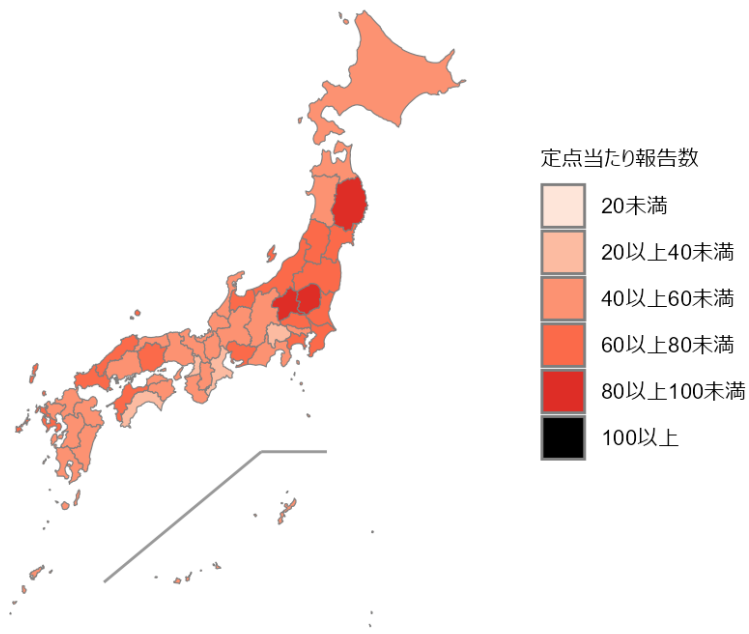
表 3: 当該週における感染症別定点当たり報告数の上位3都道府県

順位	都道府県	インフルエンザ	COVID-19	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
1	都道府県	沖縄県	新潟県	高知県	宮崎県	鹿児島県	茨城県
	定点当たり報告数	3.24	2.80	1.50	1.47	0.16	5.50
2	都道府県	秋田県	長野県	新潟県	鹿児島県	沖縄県	宮城県
	定点当たり報告数	2.62	2.05	1.40	1.32	0.16	4.20
3	都道府県	香川県	岐阜県	沖縄県	島根県	島根県	鳥取県
	定点当たり報告数	2.25	2.00	1.40	1.27	0.09	4.16

出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月28日~2025年5月4日)

注) 定点当たり報告数が同値であった場合には、都道府県番号の昇順により記載する。

図 3A: 当該週における都道府県別 ARI の定点当たり報告数

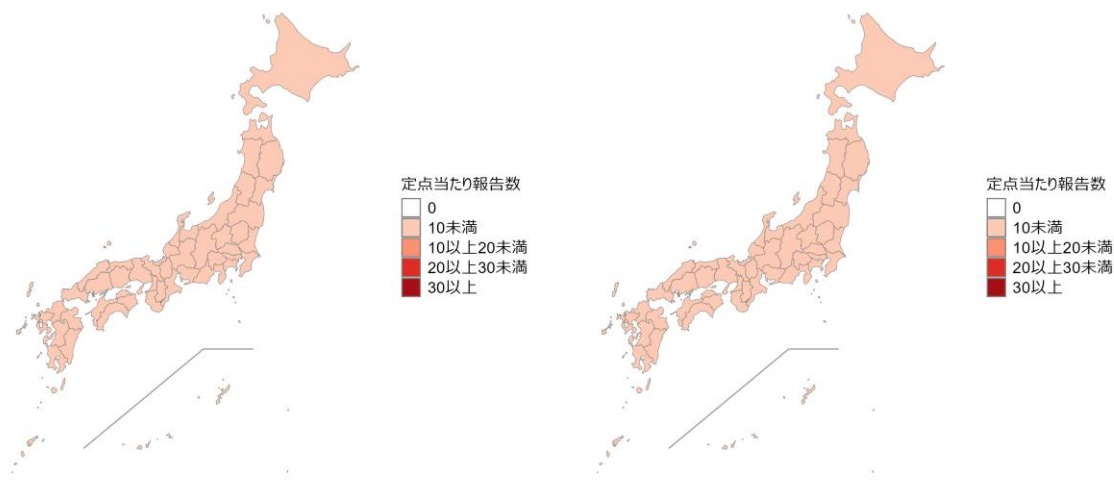


出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月28日~2025年5月4日)

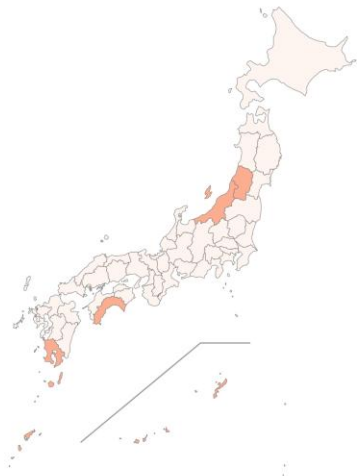
図 3B: 当該週における各感染症の都道府県別定点当たり報告数

インフルエンザ

COVID-19



RSウイルス感染症



定点当たり報告数

- 0
- 1未満
- 1以上2未満
- 2以上3未満
- 3以上4未満
- 4以上

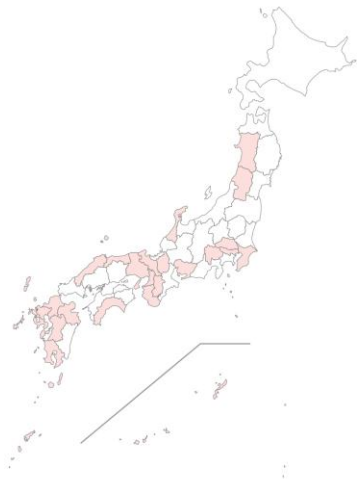
咽頭結膜熱



定点当たり報告数

- 0
- 1未満
- 1以上2未満
- 2以上3未満
- 3以上4未満
- 4以上

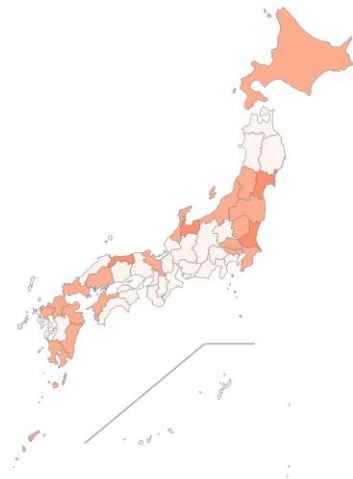
ヘルパンギーナ



定点当たり報告数

- 0
- 2未満
- 2以上4未満
- 4以上6未満
- 6以上

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

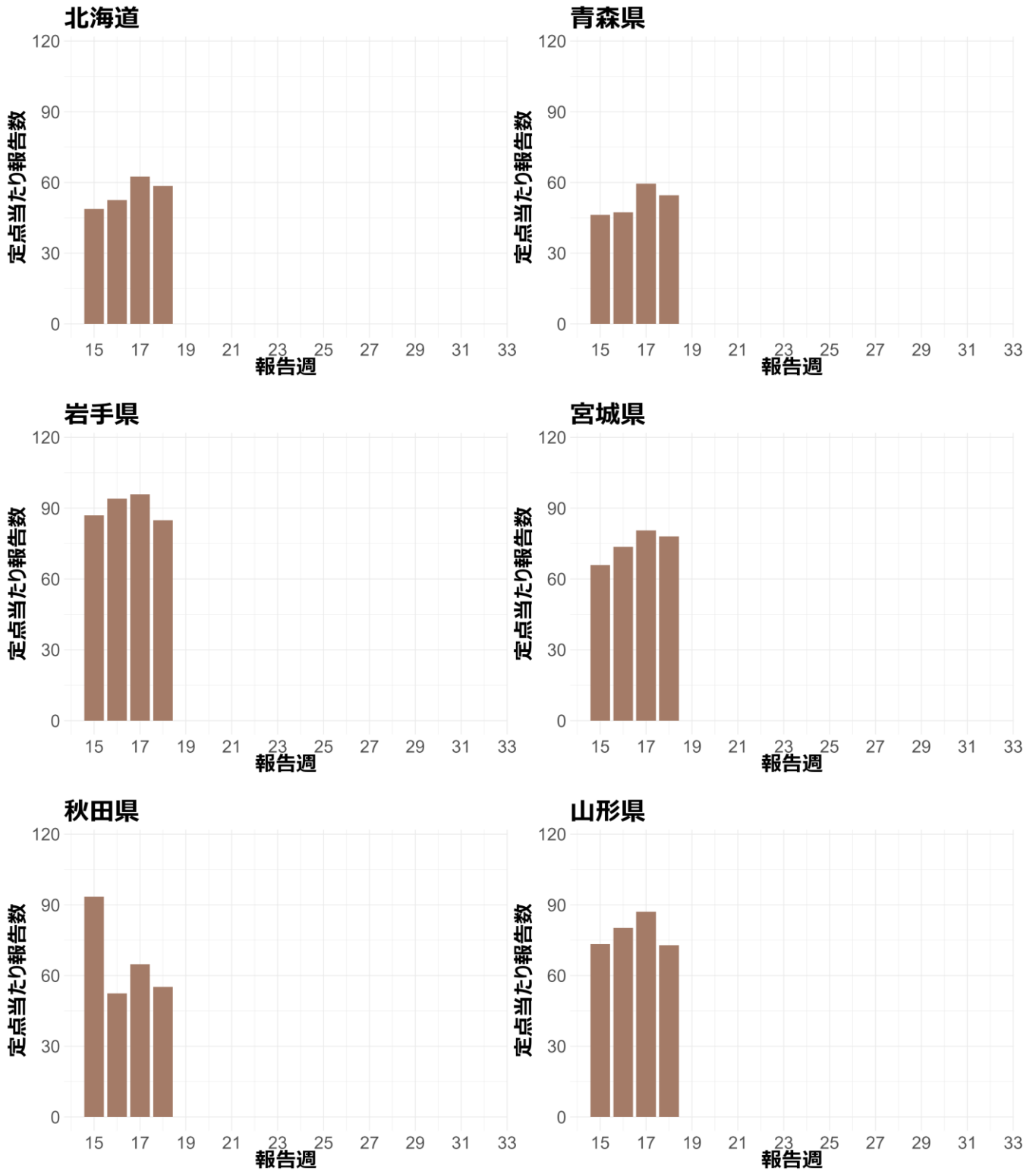


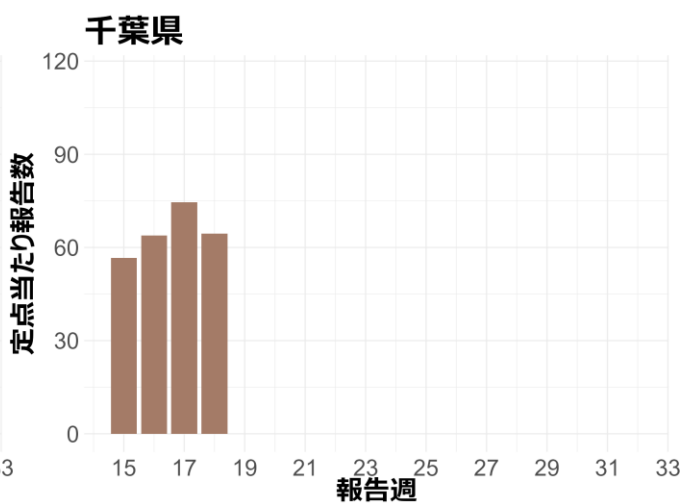
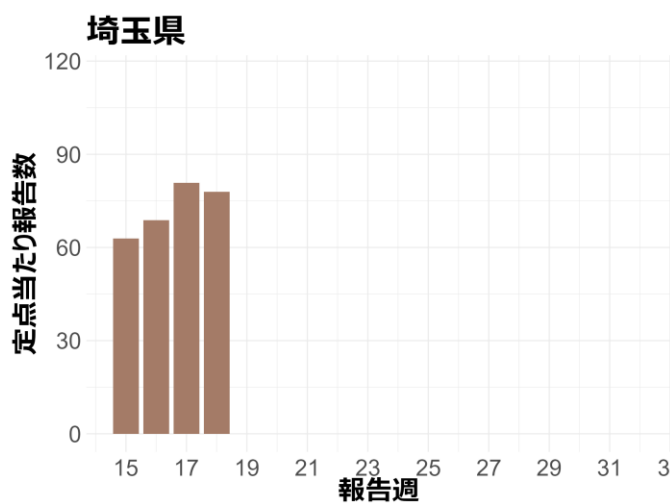
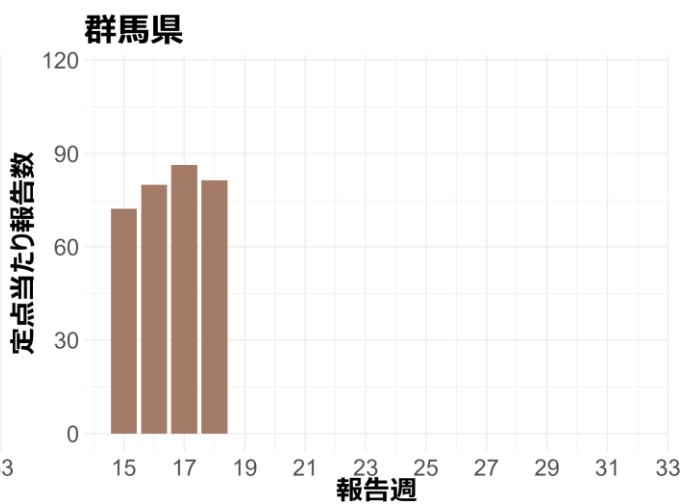
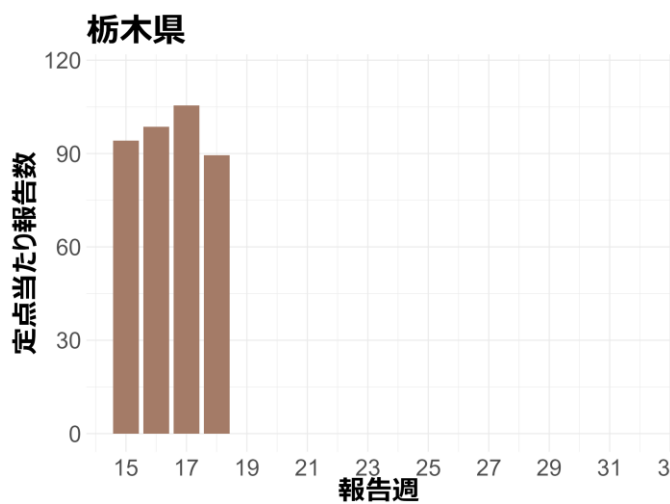
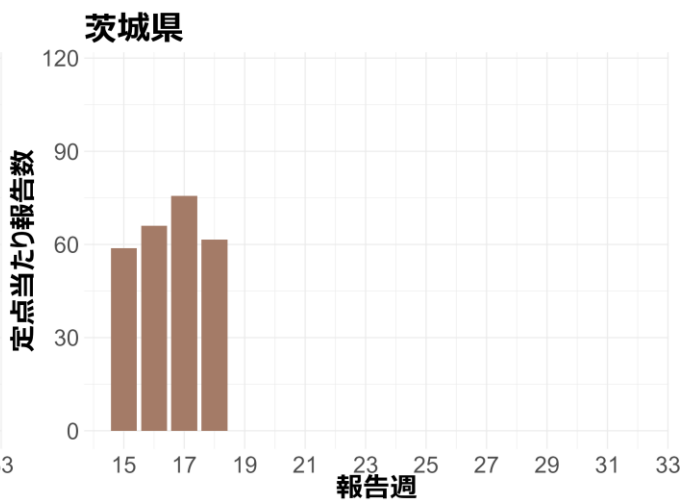
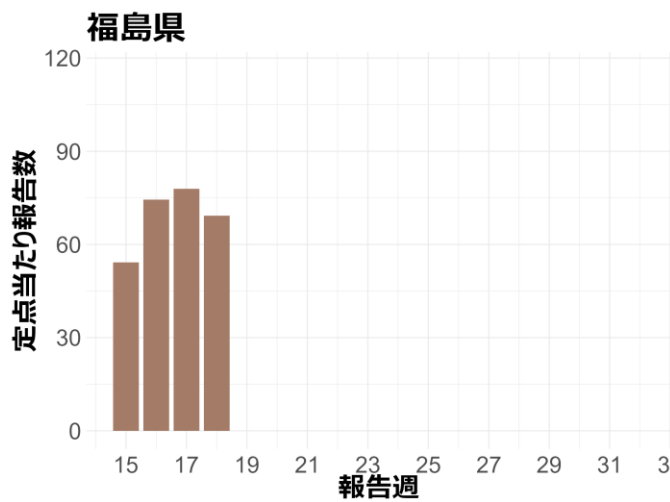
定点当たり報告数

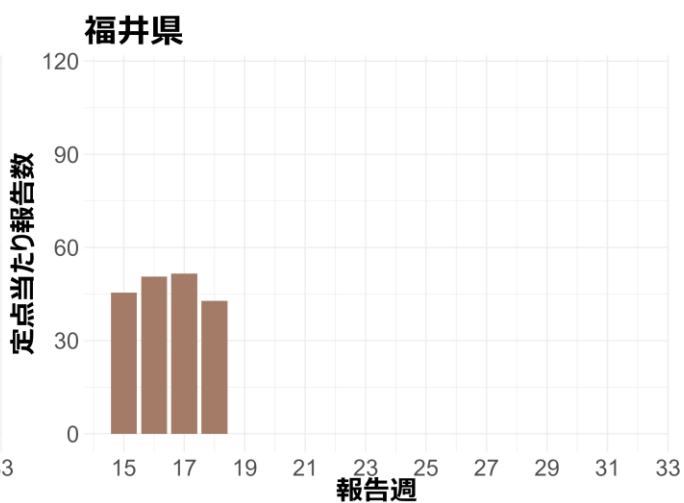
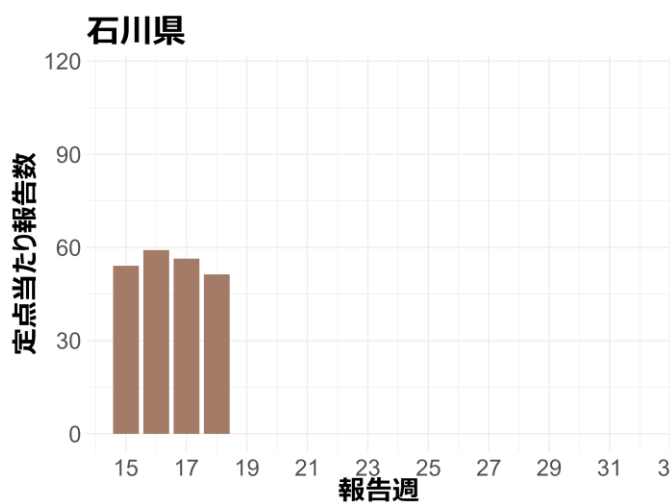
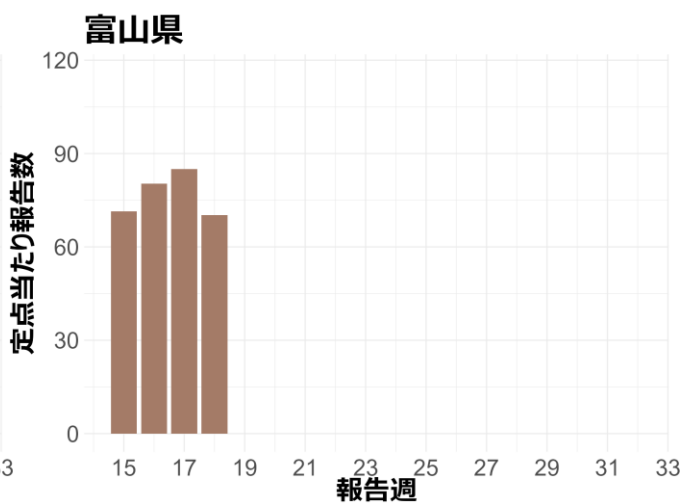
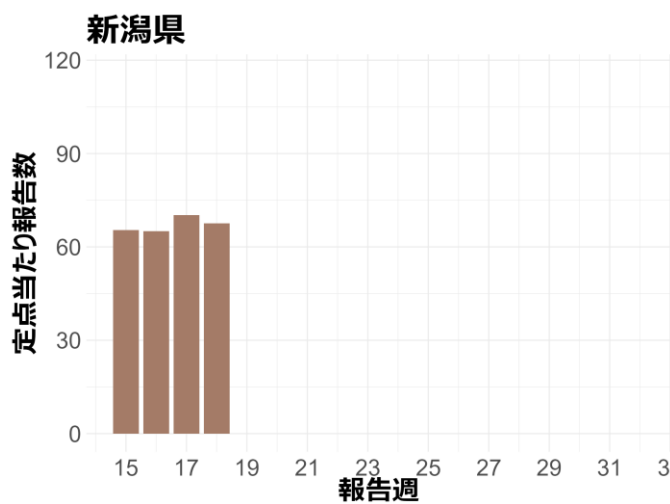
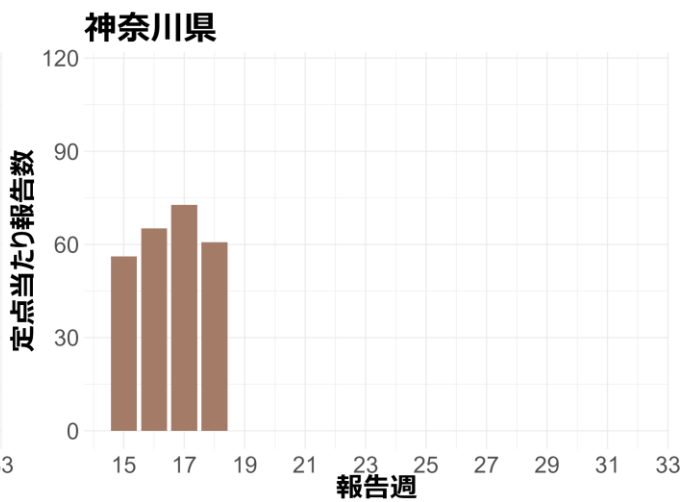
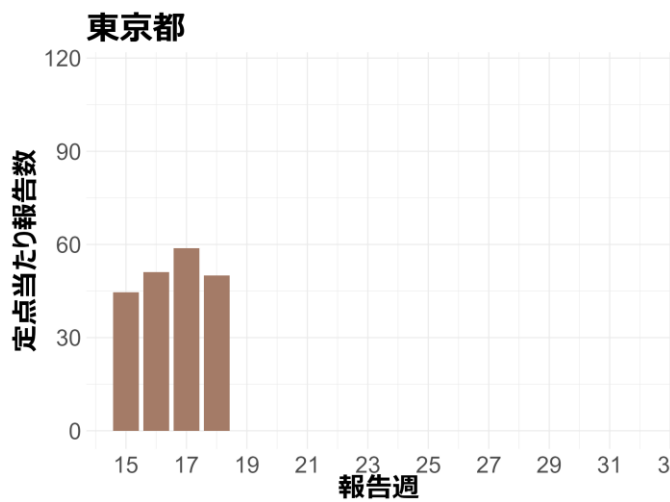
- 0
- 2未満
- 2以上4未満
- 4以上6未満
- 6以上8未満
- 8以上

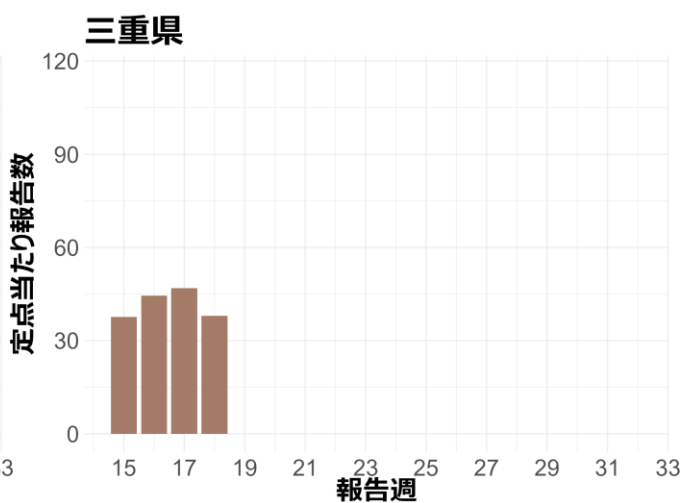
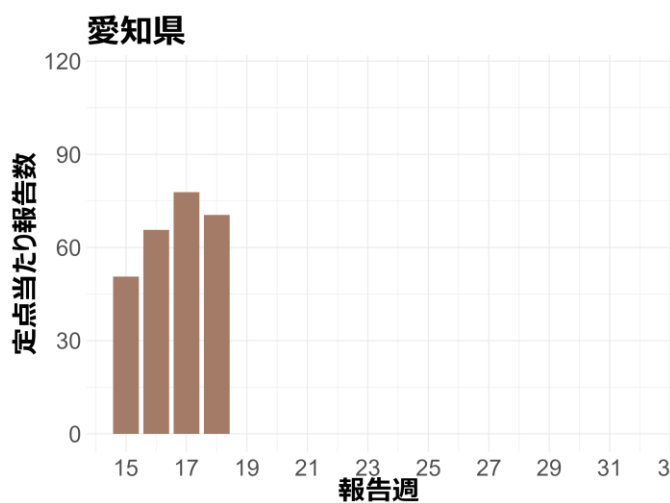
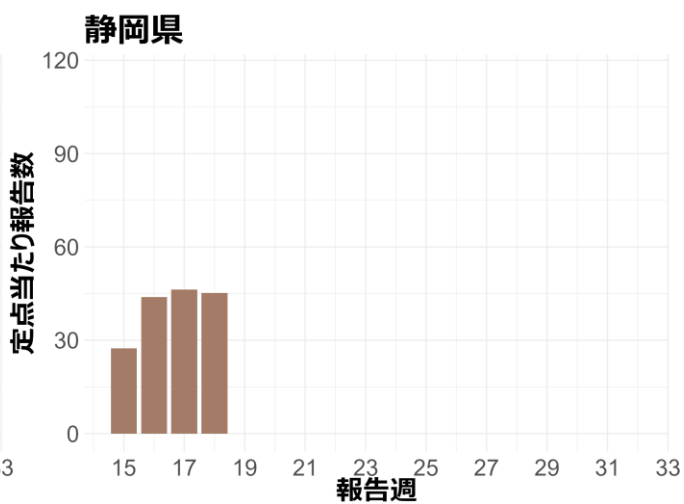
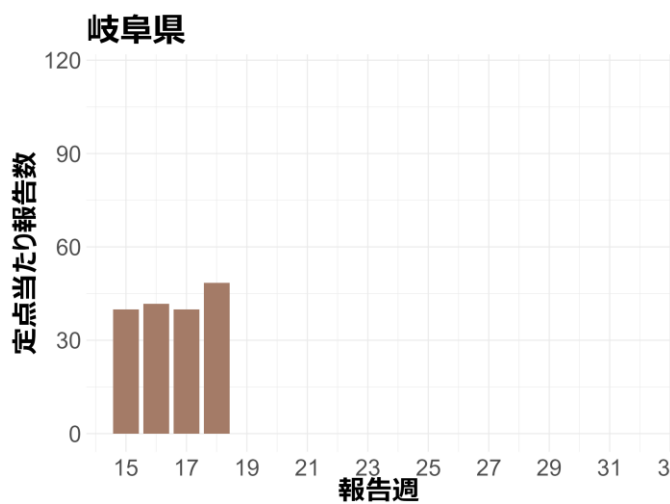
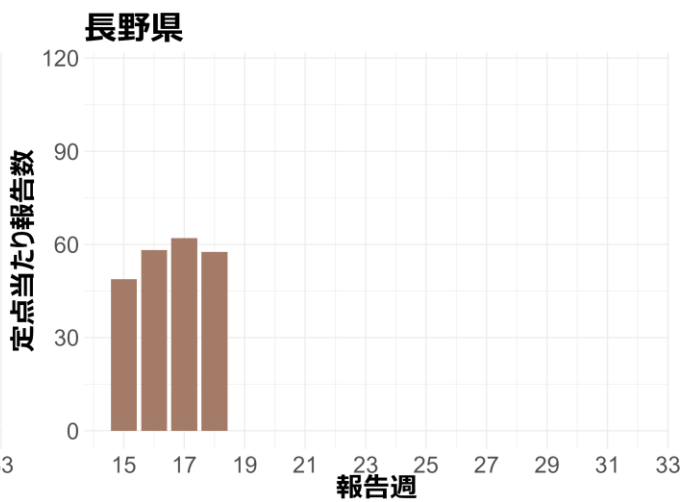
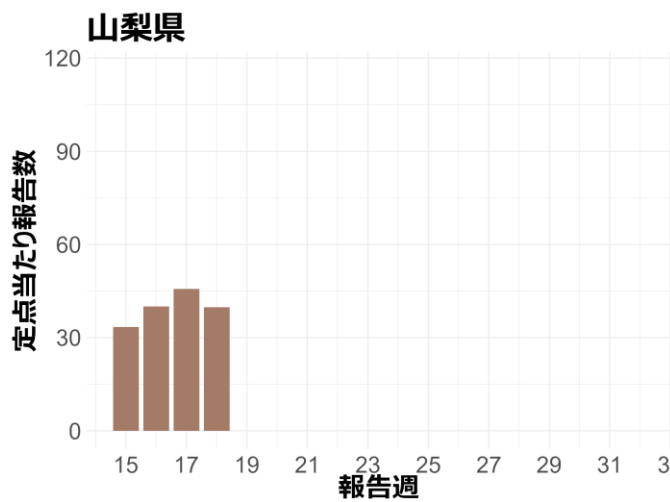
出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月28日~2025年5月4日)

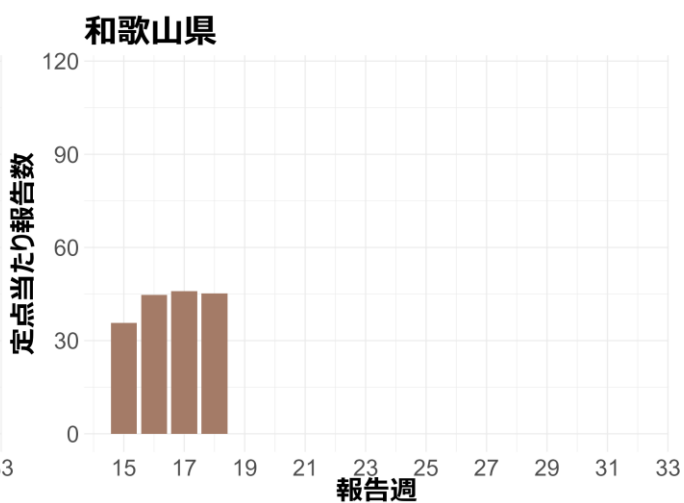
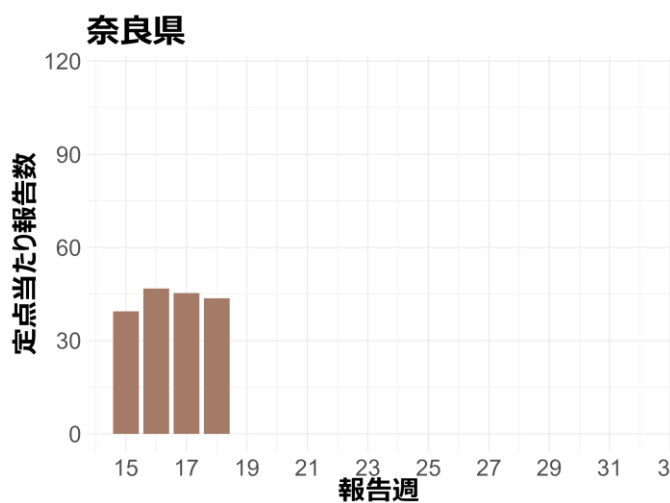
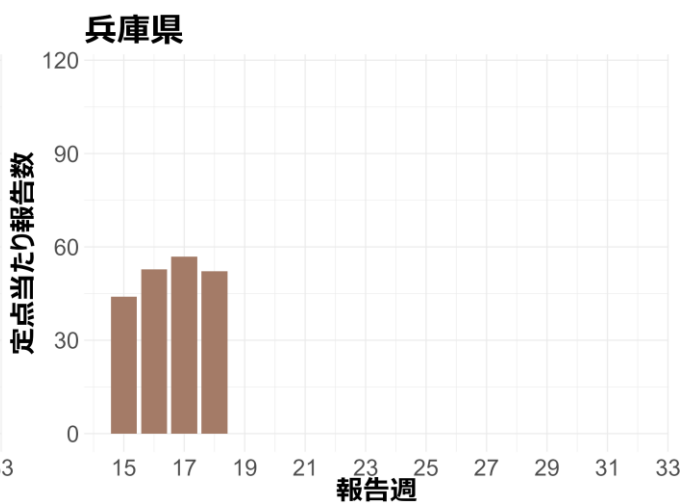
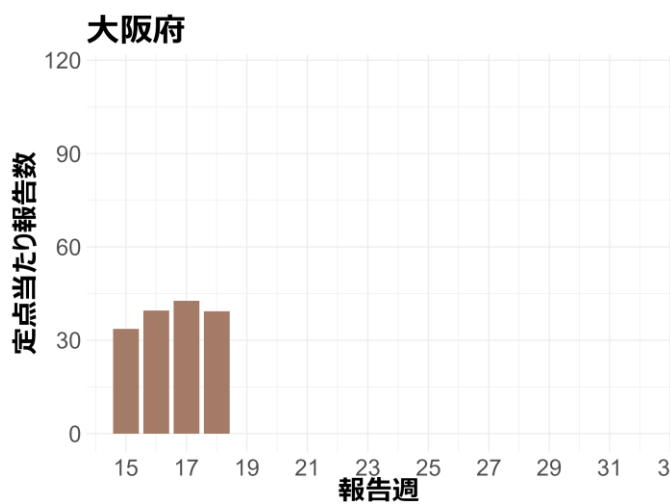
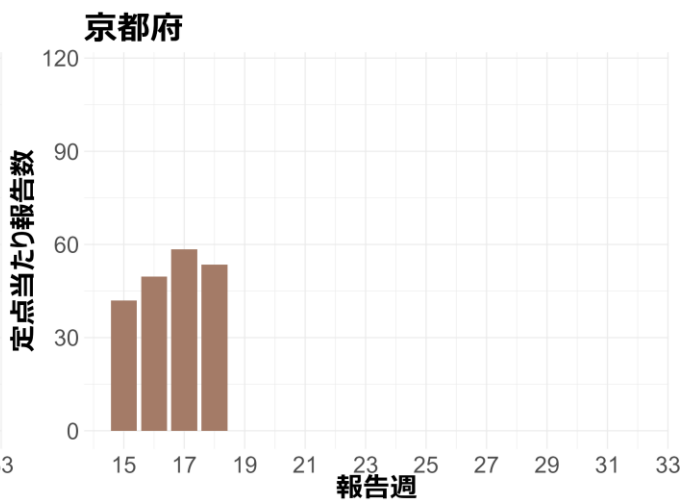
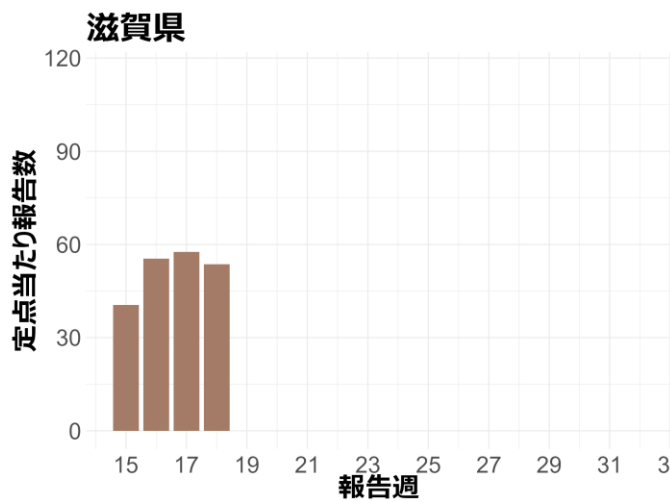
図 4: 週ごとの都道府県別 ARI の定点当たり報告数

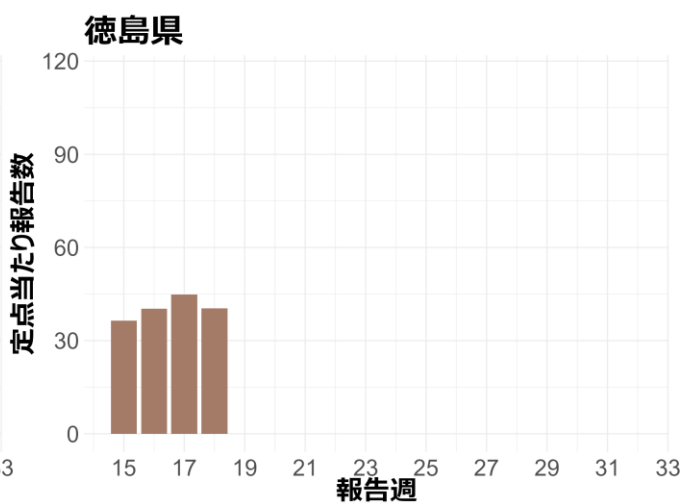
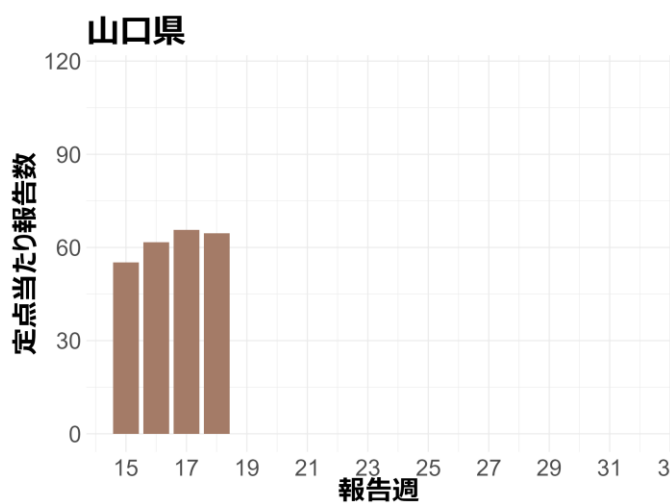
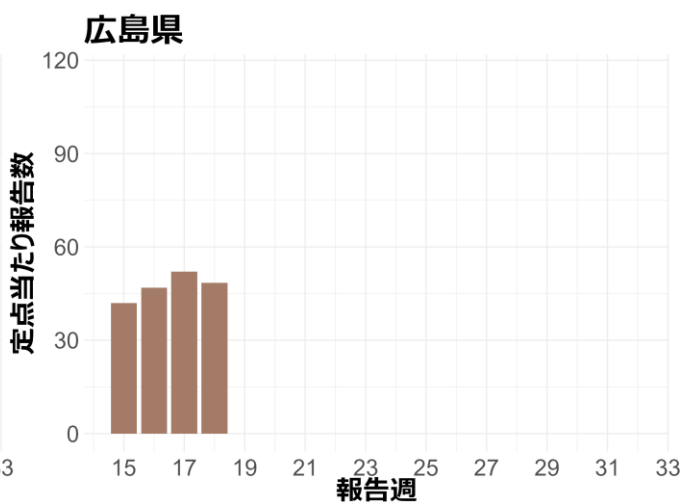
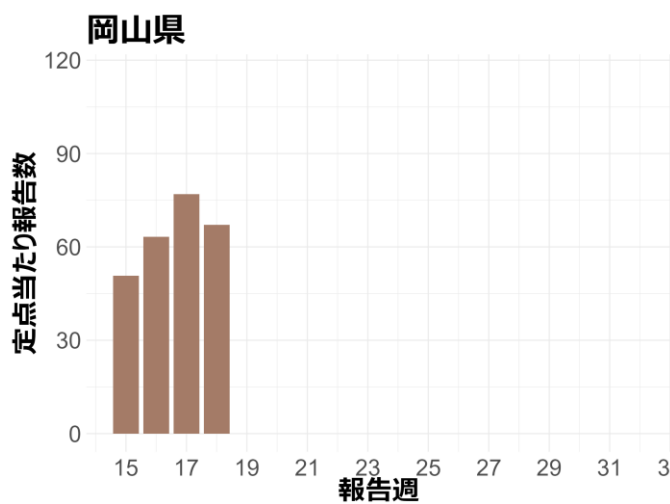
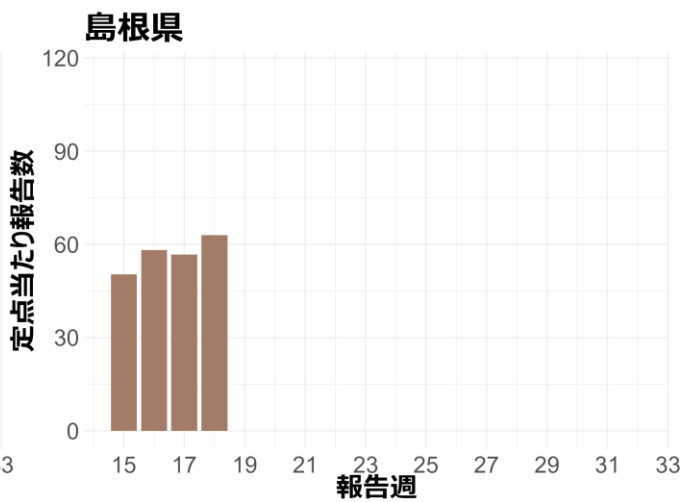
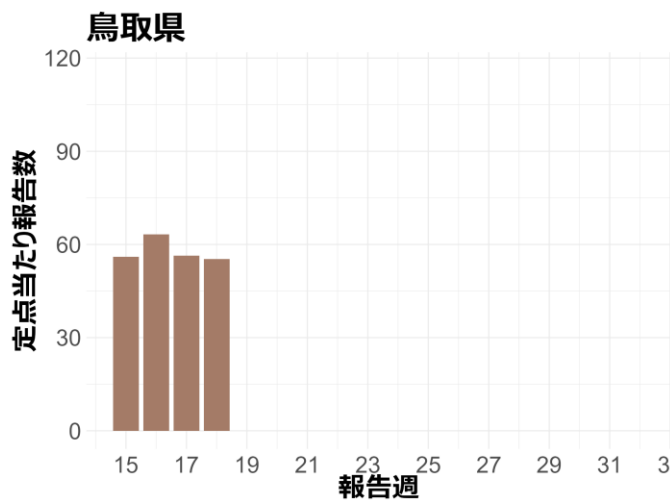


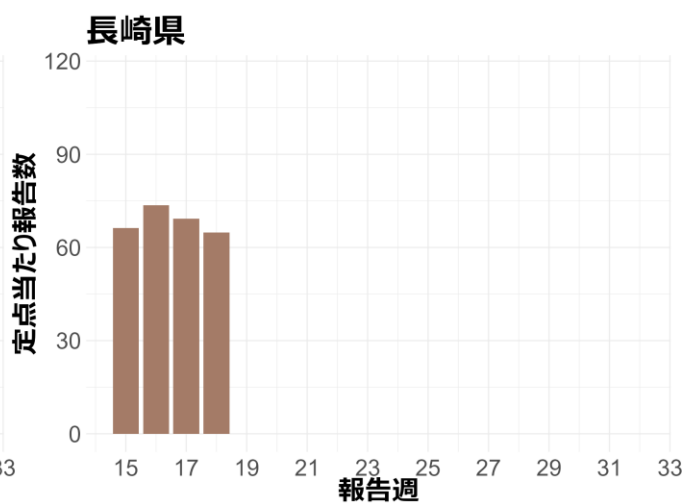
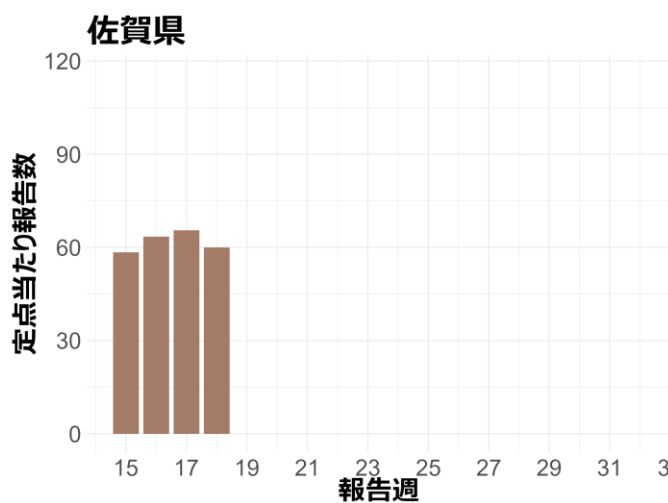
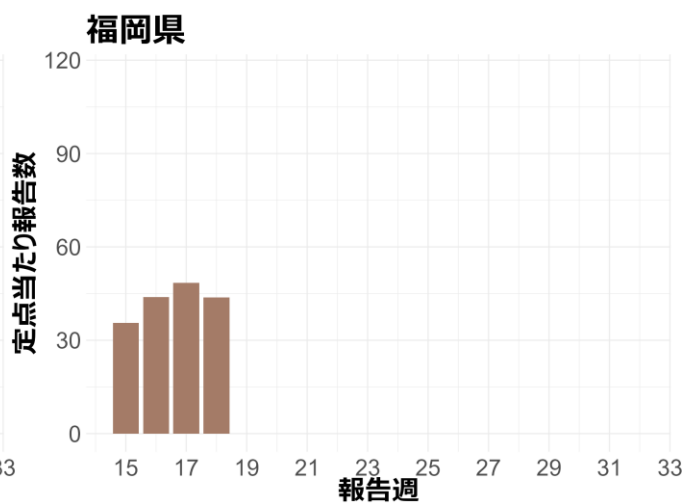
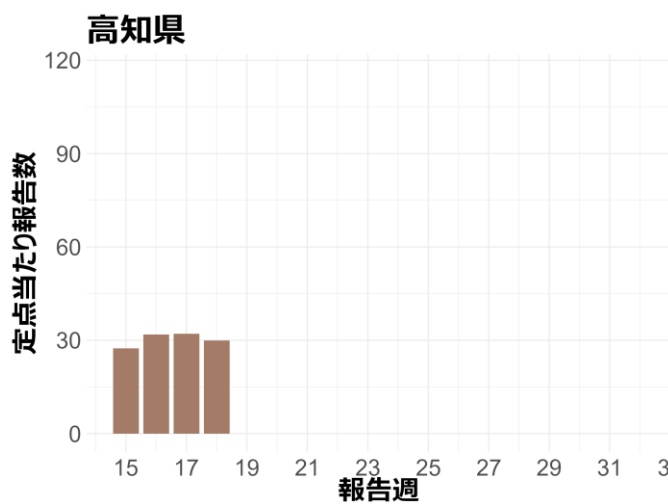
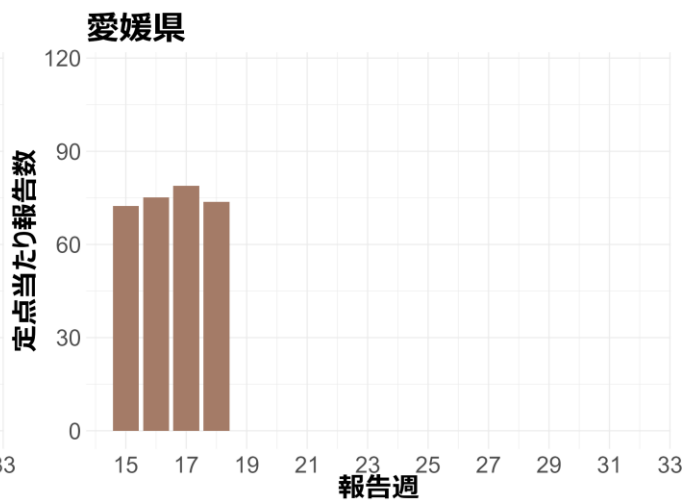
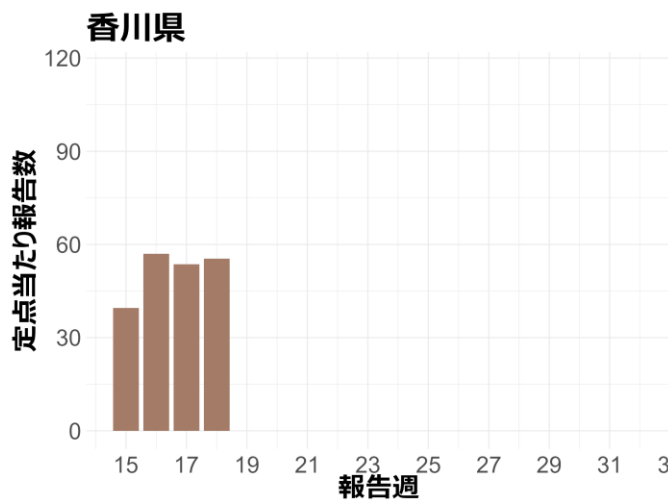


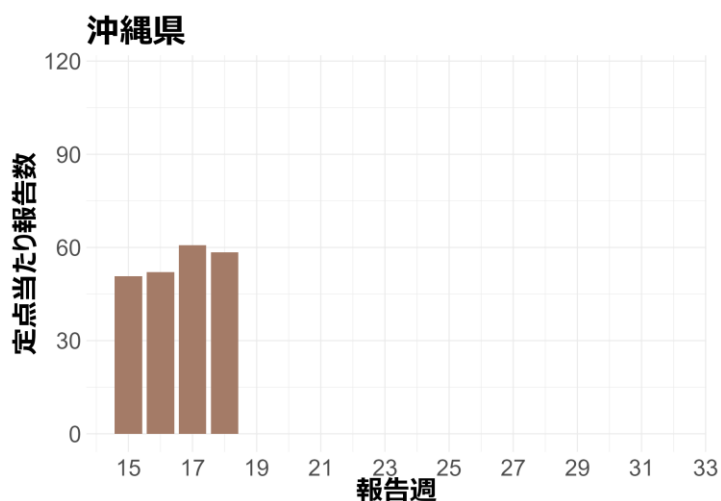
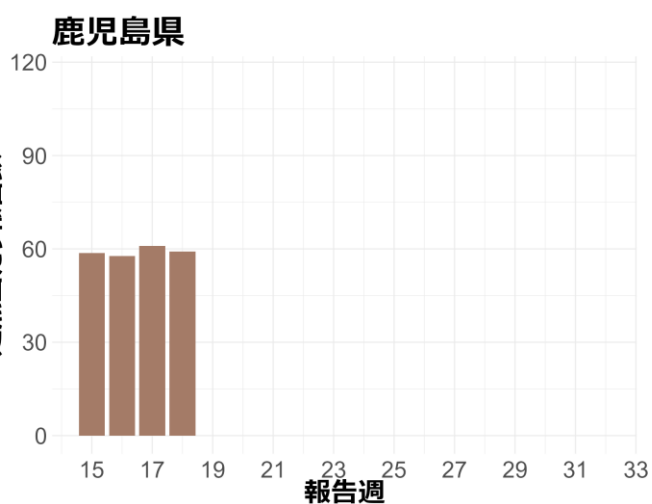
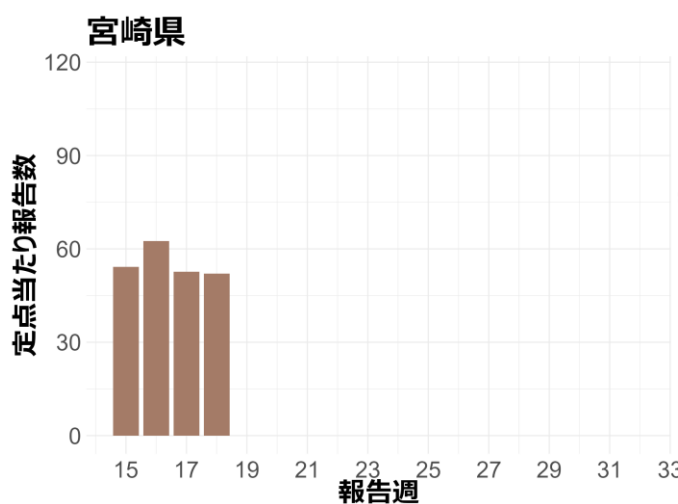
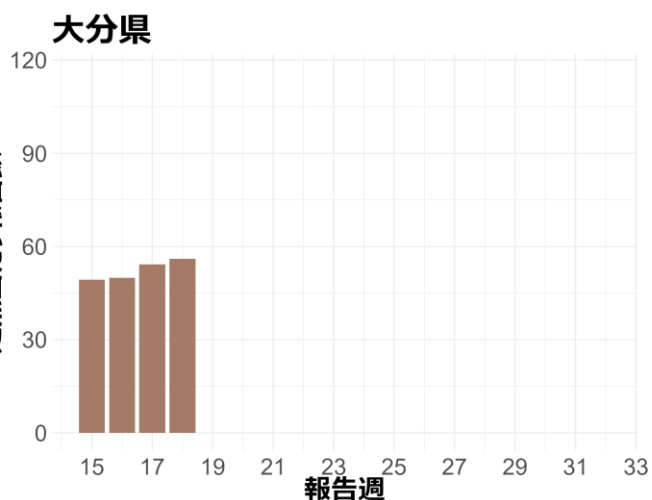
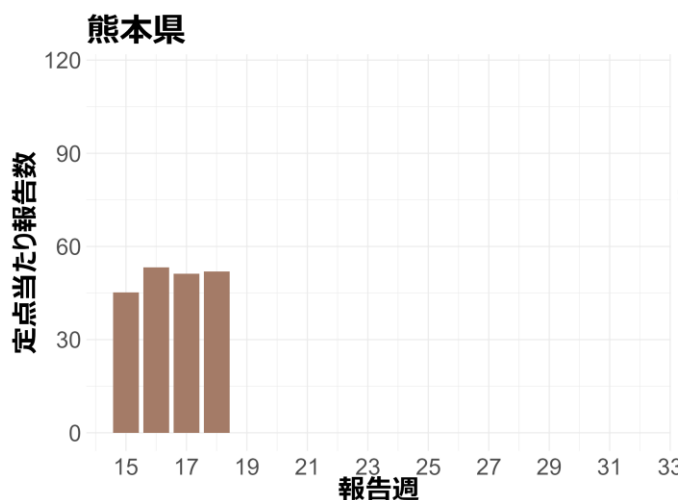












出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年5月4日)

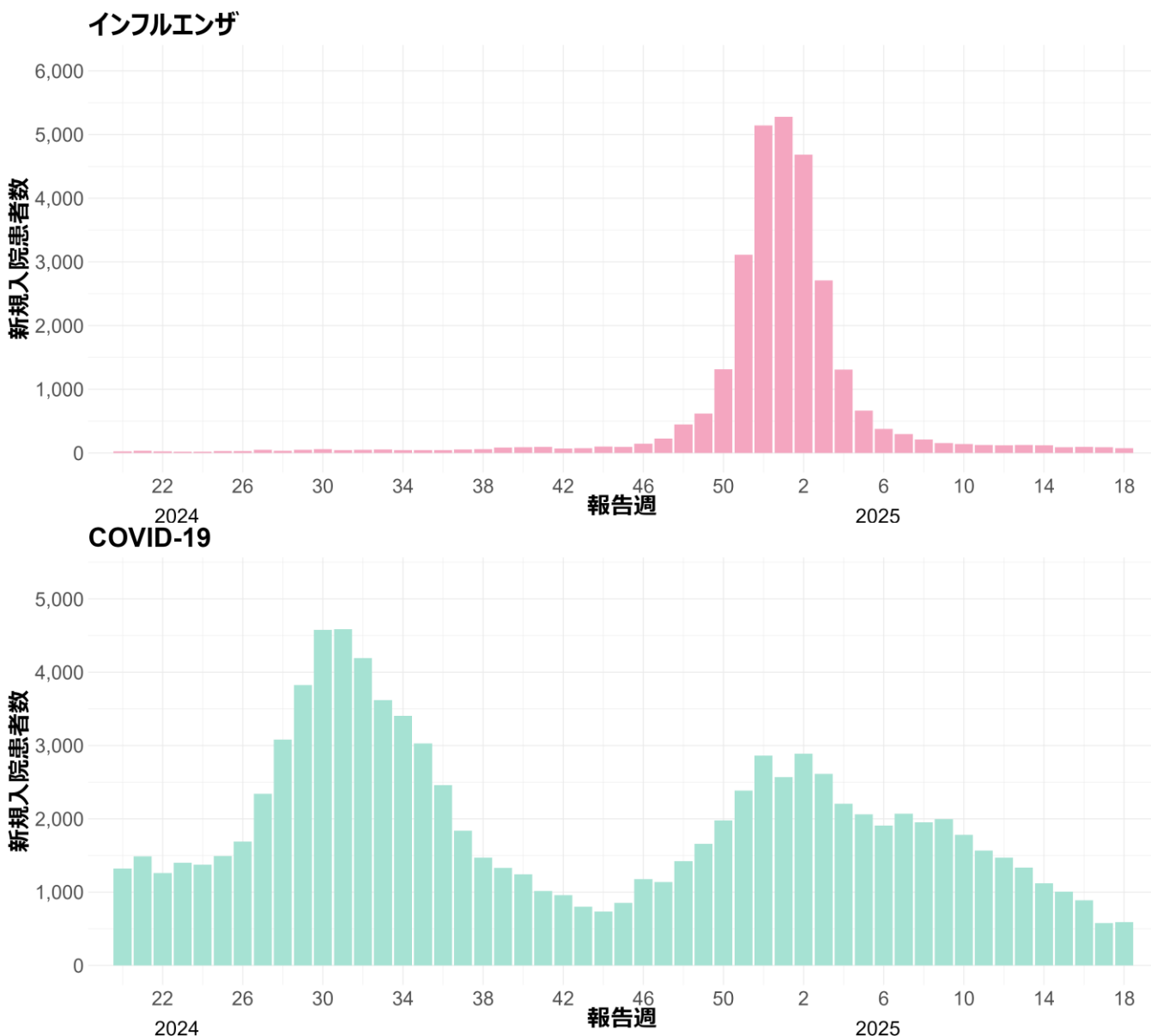
注) 報告数は、当該週のIDWRで還元したデータの再掲である。

1.4. 全国のインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数

2025 年第 18 週に基幹定点から報告された、新規入院患者数の推移を図 5 に、年齢群別報告数を表 4 に示す。インフルエンザは 73 例で前週と比較して 16 例減少した。COVID-19 は 591 例で前週と比較して 13 例増加した。

年齢群別で見ると、インフルエンザでは 0-9 歳で 15 例、10-59 歳で 16 例、60 歳以上で 42 例であった。COVID-19 では 0-9 歳で 48 例、10-59 歳で 46 例、60 歳以上で 497 例であった。前週と比べてインフルエンザは 0-9 歳では減少、10-59 歳と 60 歳以上では横ばいであった。COVID-19 は 0-9 歳では増加、10-59 歳では減少、60 歳以上では増加した。

図 5: 基幹定点医療機関から報告されたインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数



出典: 感染症発生動向調査(2025 年 5 月 8 日時点, データ範囲: 2024 年 5 月 6 日~2025 年 5 月 4 日)

表 4: 当該週における基幹定点医療機関から報告された新規入院患者数

年齢群	インフルエンザ	COVID-19
0-9 歳	15 (0.47)	48 (1.12)
10-59 歳	16 (1.00)	46 (0.72)
60 歳以上	42 (1.02)	497 (1.06)
計	73 (0.82)	591 (1.02)

出典: 感染症発生動向調査(2025 年 5 月 8 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 28 日~2025 年 5 月 4 日)

注)カッコ内の数値は前週比であり、前週の報告数は当該週の IDWR で還元したデータを用いた。
注)前週の報告数が 0 であった場合は、前週比の欄に「—」と表記。

2. 病原体サーベイランスの状況

2.1. 全国の病原体別報告数

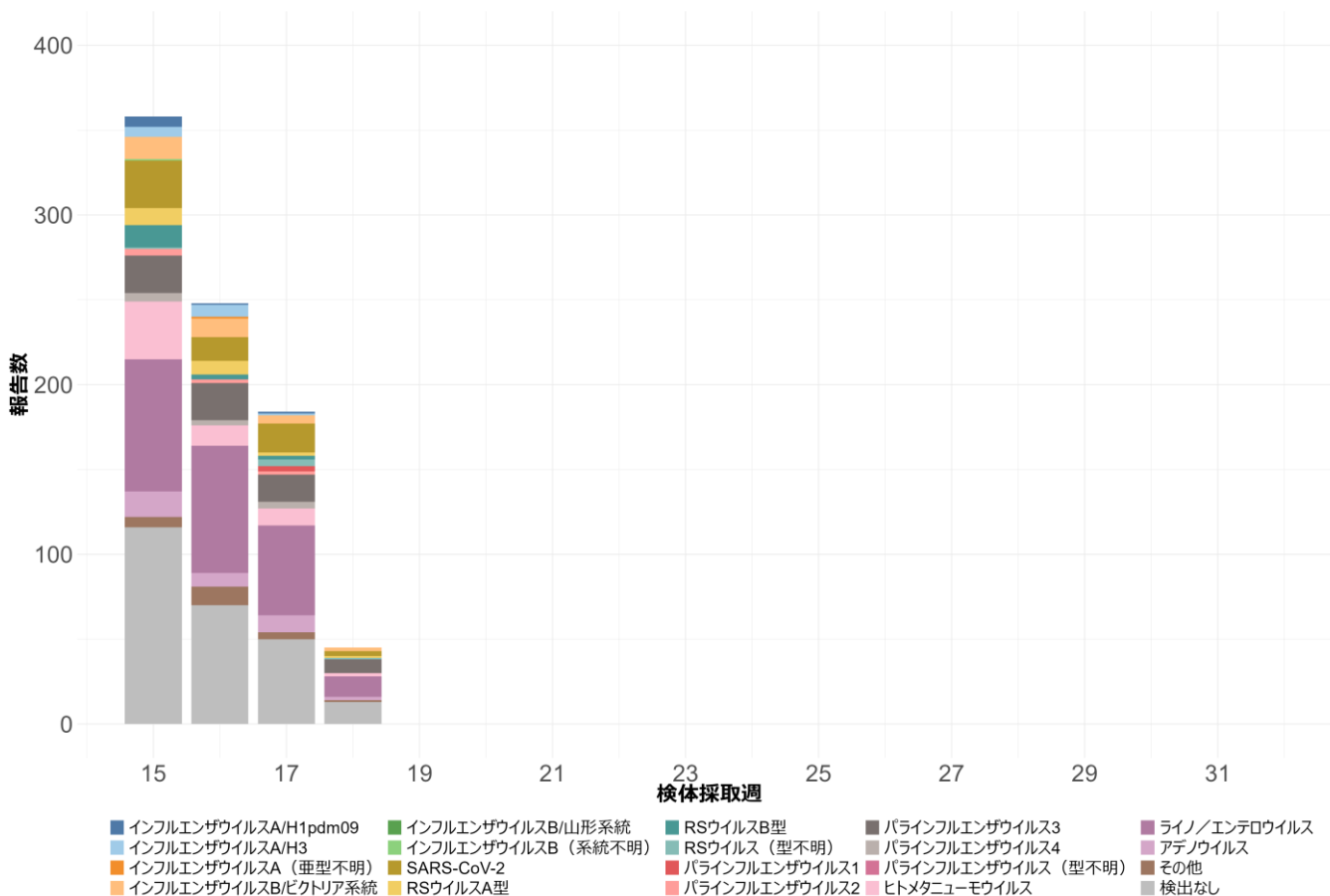
急性呼吸器感染症病原体定点(以下、ARI 病原体定点)で 2025 年第 18 週に採取され、集計時点までに報告された検体数は 36 件であった。そのうち陽性数はインフルエンザウイルス A 型が 0 件、インフルエンザウイルス B 型が 2 件、SARS-CoV-2 が 3 件、RS ウイルスが 2 件であった(図 6)。

病原体別の陽性率は、インフルエンザウイルス A 型が 0%、インフルエンザウイルス B 型が 5.6%、SARS-CoV-2 が 8.3%、RS ウイルスが 5.6%であった(図 7)。

地域別での陽性数を図 8 に示す。

また検体採取週ごとの医療機関における全自動遺伝子解析装置等による検査結果を参考表に示す。

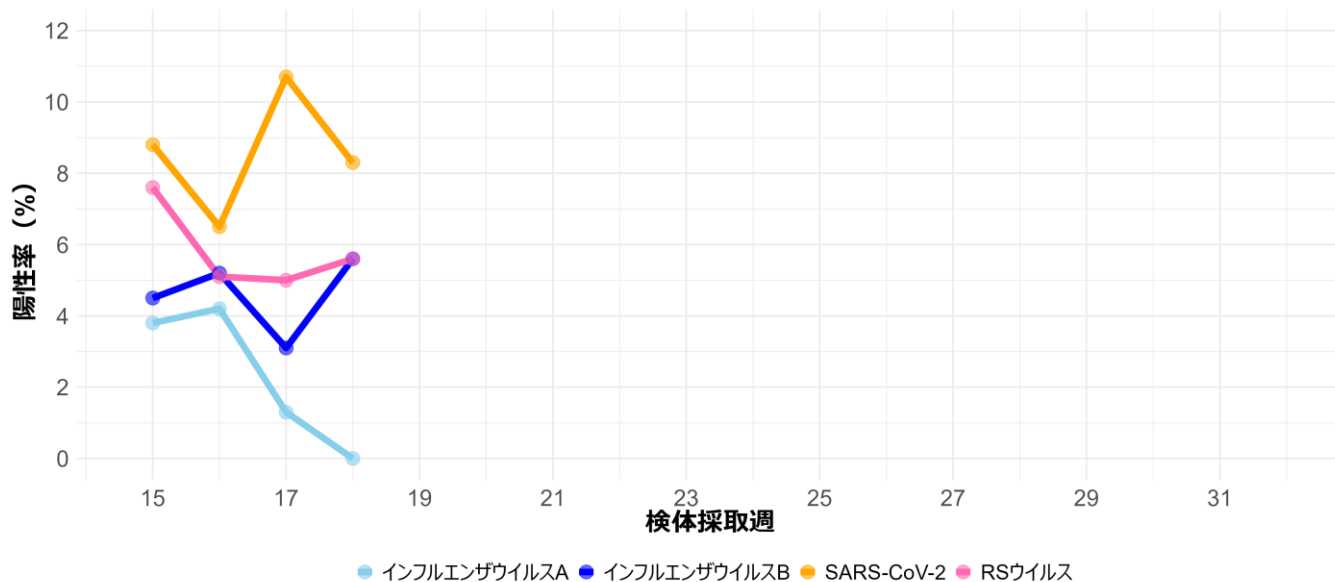
図 6: 検体採取週ごとの病原体別報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025年5月7日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年5月4日)

- 注) 報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。
- 注) 集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。
- 注) 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上している。
- 注) ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたもの。
- 注) その他は、凡例に示されている病原体以外が検出されたものである。
- 注) 検査結果が検出なし、また検査結果の掲載がない週及び地域については、病原体が検出されなかった場合もあるが、検査項目によっては未実施の場合も含まれることに注意が必要である。

図 7: 検体採取週ごとの病原体別陽性率



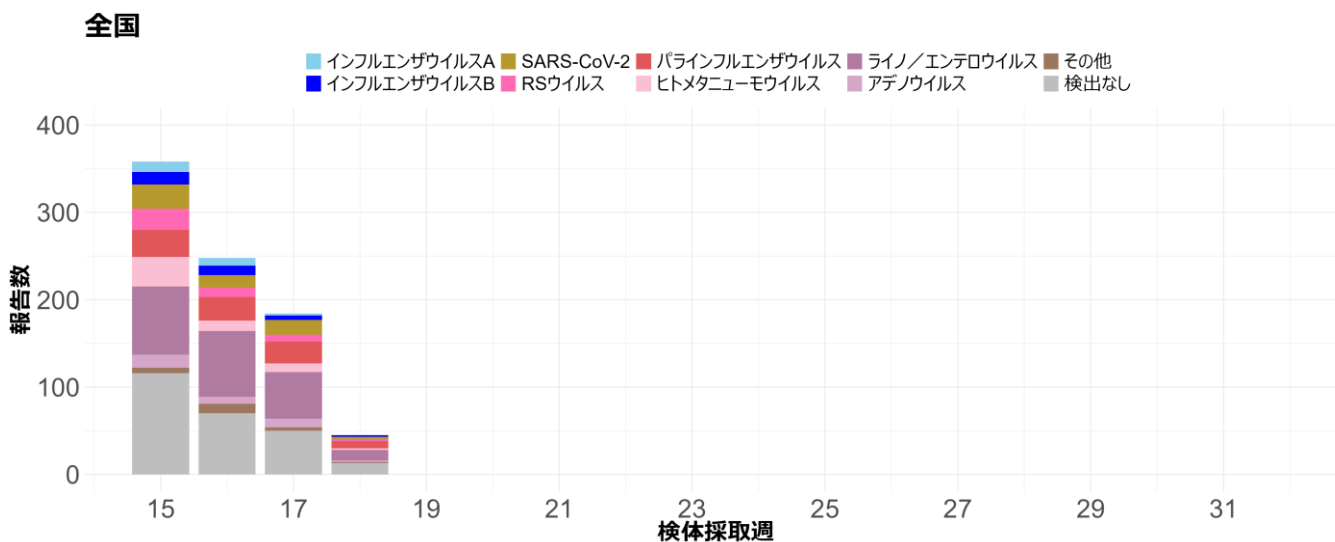
出典: 感染症発生動向調査(2025年5月7日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年5月4日)

注)陽性率は、対象病原体の検査実施検体数を分母として算出((陽性数/検査実施数)×100)される。

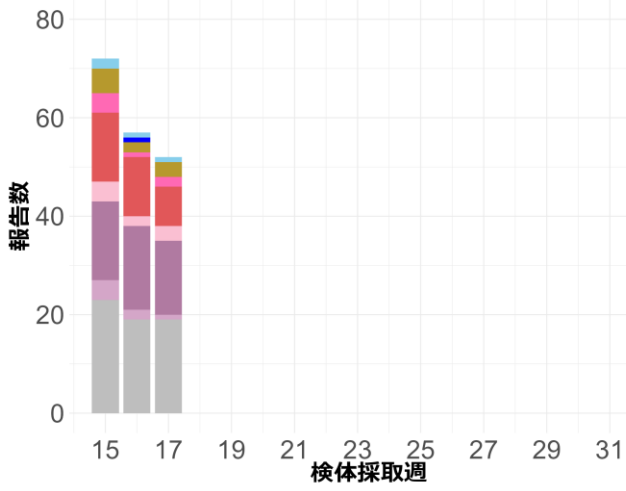
注)報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。

注)集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。

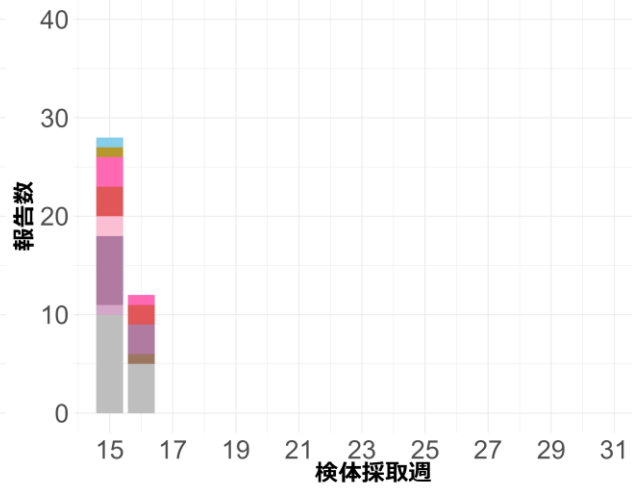
図 8: 検体採取週ごとの全国および地域別、病原体別報告数



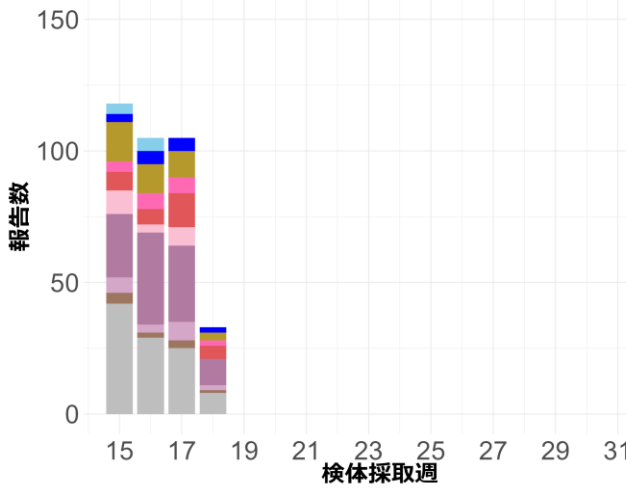
北海道・東北



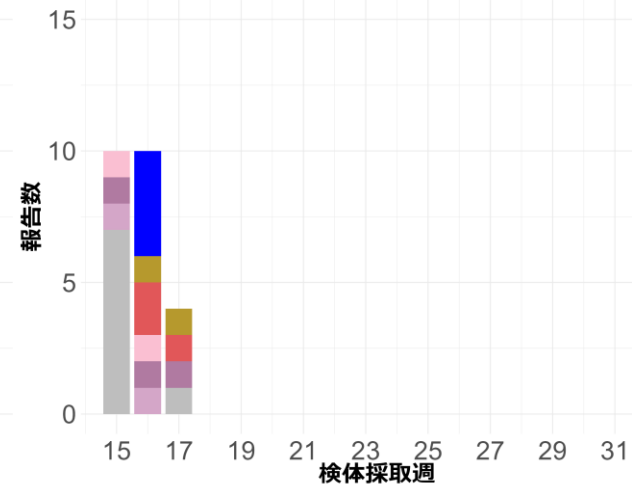
北陸

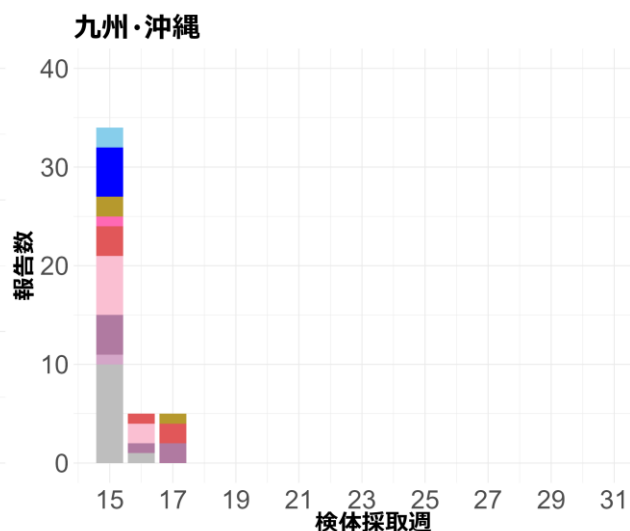
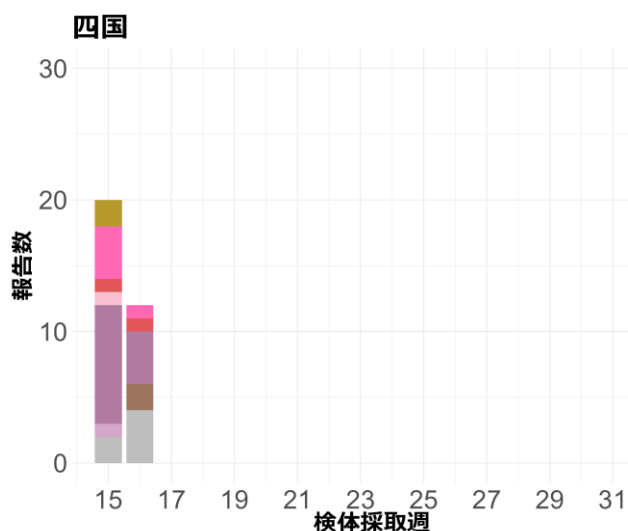
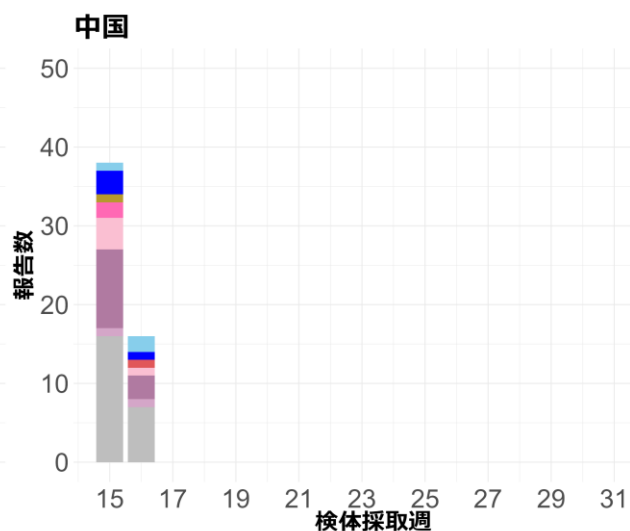
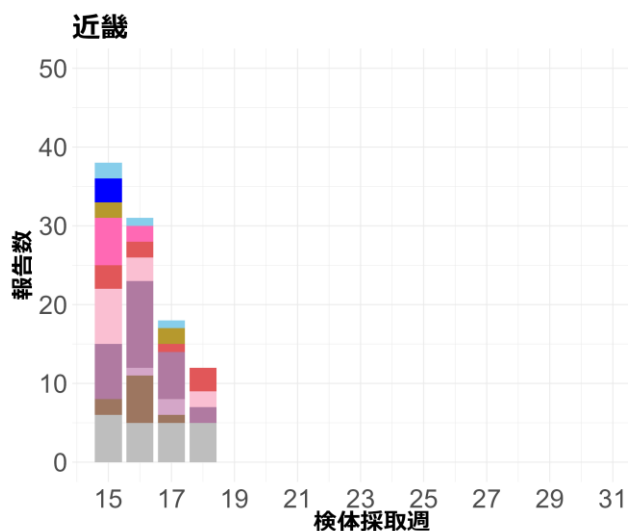


関東



東海





出典: 感染症発生動向調査(2025年5月7日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年5月4日)

注) 報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。

注) 集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。

注) 1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上している。

注) ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたもの。

注) その他は、凡例に示されている病原体以外が検出されたものである。

注) 検査結果が検出なし、また検査結果の掲載がない週及び地域については、病原体が検出されなかった場合もあるが、検査項目によっては未実施の場合も含まれることに注意が必要である。

2.2. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス

※今週の掲載はありません。

参考: 検体採取週ごとの全自動遺伝子解析装置等による検査結果

全自動遺伝子解析装置を設置している医療機関における病原体検査の結果をモニタリングするために、任意の医療機関の協力により集められた検査結果である。

病原体	第 15 週	第 16 週	第 17 週	第 18 週
インフルエンザウイルス A/H1	0	0	0	0
インフルエンザウイルス A/H1-2009	0	0	0	0
インフルエンザウイルス A/H3	0	0	0	0
インフルエンザウイルス A(亜型不明)	1	1	0	0
インフルエンザウイルス B	0	0	0	0
SARS-CoV-2	1	2	3	0
RS ウイルス	2	2	0	0
パラインフルエンザウイルス 1	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス 2	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス 3	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス 4	0	0	1	0
パラインフルエンザウイルス(型不明)	0	1	0	0
ヒトライノウイルス／エンテロウイルス	2	1	0	0
ヒトメタニューモウイルス	1	1	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0
コロナウイルス HKU1	0	0	0	0
コロナウイルス NL63	0	0	0	0
コロナウイルス 229E	0	0	0	0
コロナウイルス OC43	0	0	0	0
百日咳菌	0	0	0	0
パラ百日咳菌	0	0	0	0
クラミジア・ニューモニエ	0	1	0	0
マイコプラズマ・ニューモニエ	0	3	0	0

出典: 感染症発生動向調査(2025年5月7日時点, データ範囲: 2025年4月7日~2025年5月4日)

注)医療機関からの任意の協力による報告であるため報告数は参考値である。協力いただいた医療機関は、現時点で6医療機関である。

注)ライノ/エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたもの。

注意事項

本報では、急性呼吸器感染症定点および小児科定点としてあらかじめ指定された医療機関から週単位で報告された患者数を全国および都道府県ごとに集計した数値を用いている。都道府県別あるいは性別・年齢階級別報告数の詳細については感染症発生動向調査週報(IDWR)を参照されたい。なお、本報およびIDWRに掲載されている数値は暫定値であるため、年報での数値とは必ずしも一致しない。

患者サーベイランスの集計には感染症発生動向調査に報告されたデータのうち直近1週間は集計日時点のデータを、それ以前は最初の集計時点のデータを再掲している。遅れて報告されたり、修正されたりする可能性があるため、集計値は暫定値であることに注意が必要である。

病原体サーベイランスの集計では、全ての週に関して集計時点のデータを掲載している。自治体/地方衛生研究所によって集められた検体に対する病原体検査項目が異なることがある。また、自治体/地方衛生研究所によって検査実施および報告に要する日数が異なるため、検体採取週における病原体検出数は遅れて報告される、あるいは修正されることがあり集計値は暫定値であることに注意が必要である。

急性呼吸器感染症定点は、内科定点に比べ小児科定点が多く選択されている。定点から報告されたインフルエンザ、COVID-19症例に占める各年齢群の割合については、小児に偏る可能性がある。一方、経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握、年齢群ごとの傾向と水準の評価の観点においては影響を与えない。

年末・年始(第52週~第1週頃)、ゴールデンウィーク(第18週頃)、お盆(第33週頃)、シルバーウィーク(第39週頃)等の週では、報告数が減少する傾向があり解釈には注意が必要である。なお、祝日、休日の並び等によって該当する週は年によって異なる。

従来の警報・注意報は保健所ごとの報告数を用いて検討・設計されており、定点数の設計および定点医療機関が変更された2025年4月7日以降の患者サーベイランスに直ちに当てはめることはできない。急性呼吸器感染症定点の運用時でのインフルエンザをはじめとする各感染症の警報・注意報といったアラートについてはデータの蓄積の上で検討を進める。なお、このような限界を理解したうえで従前の警報・注意報をコミュニケーションとして使用することを妨げるものではない。

急性呼吸器感染サーベイランスは2025年4月から開始されており、報告数のレベルの評価にはデータの蓄積を要する。その動向の推移を注視していく必要がある。

地域の定義

北海道・東北地方: 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県

東海地方: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国地方: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄地方: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

参考サイト

- 感染症発生動向調査週報(IDWR)ページ
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 病原微生物検出情報(IASR)ページ
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>
- 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症情報提供サイト
<https://id-info.jihs.go.jp/>
 - ・インフルエンザ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/influenza/010/influ-top.html>
 - ・ヒトに感染するコロナウイルス(新型コロナウイルス感染症)
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/coronavirus/010/coronavirus.html>
 - ・RS ウイルス感染症
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>
 - ・咽頭結膜熱
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/adenovirus/010/pcf-intro.html>
 - ・ヘルパンギーナ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/herpangina/010/herpangina.html>
- 厚生労働省 感染症情報
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html
 - ・急性呼吸器感染症(ARI)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html>
 - ・急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスに係る具体的な方針について (PDF: 1096KB)
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001272561.pdf>
 - ・インフルエンザ(総合ページ)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html
 - ・新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
 - ・RS ウイルス感染症 Q&A(令和6年5月 31 日改訂)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html
 - ・咽頭結膜熱
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/pcf.html
 - ・ヘルパンギーナ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/herpangina.html
- 新型コロナウイルスのゲノムサーベイランス(検疫検体:入国者検疫検体を含む)について
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/45/532/article/030/index.html>

●SARS-CoV-2 変異株について

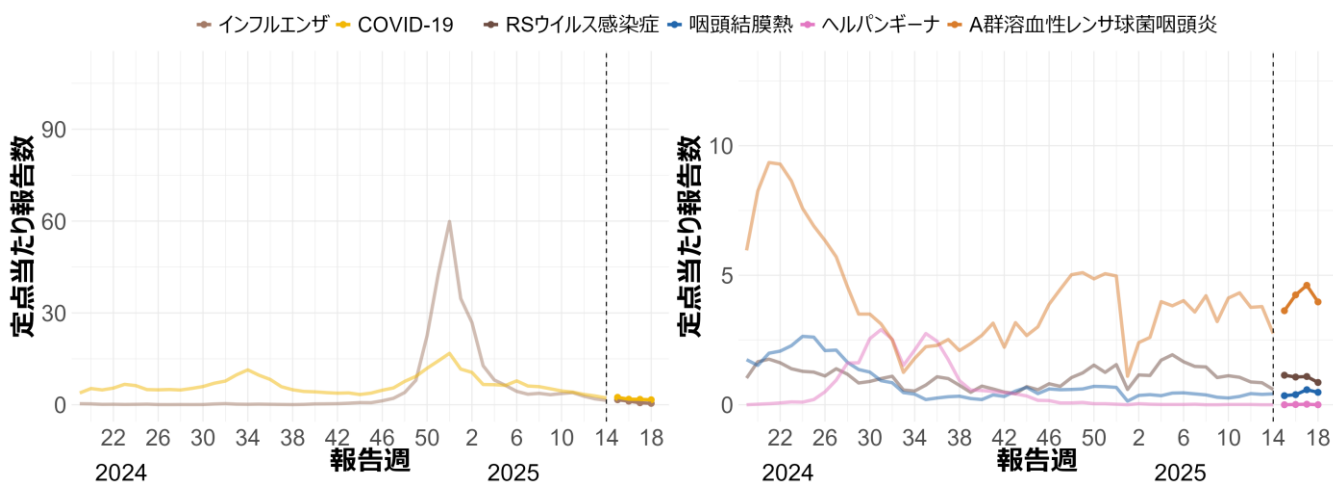
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/covid-19/180/flu2-1-1.html>

●都道府県番号について (PDF: 68KB)

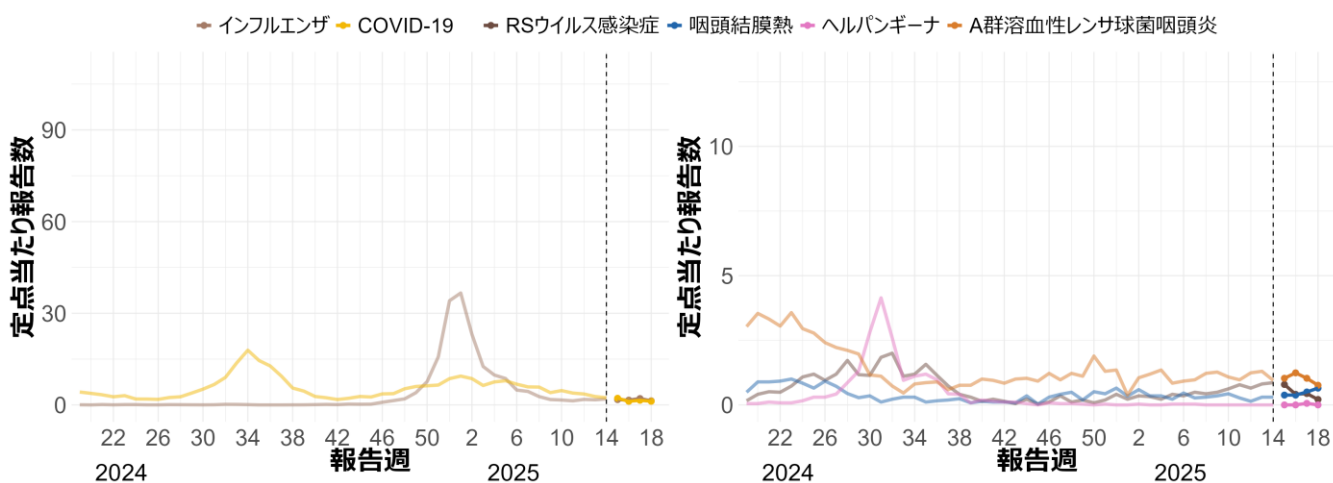
<https://www.mhlw.go.jp/topics/2007/07/dl/tp0727-1d.pdf>

参考: 各感染症の週ごとの都道府県別定点当たり報告数

北海道

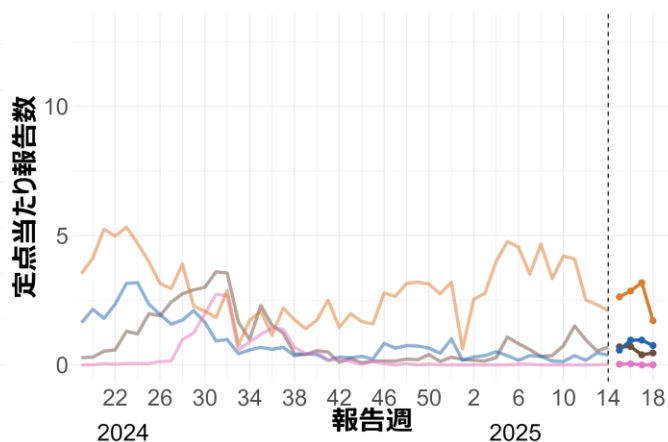


青森県



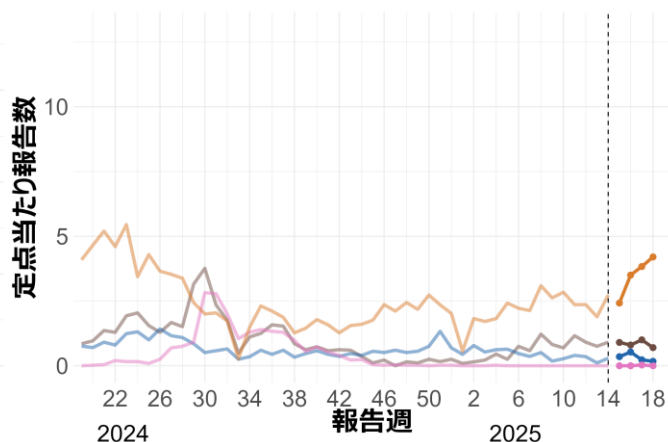
岩手県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



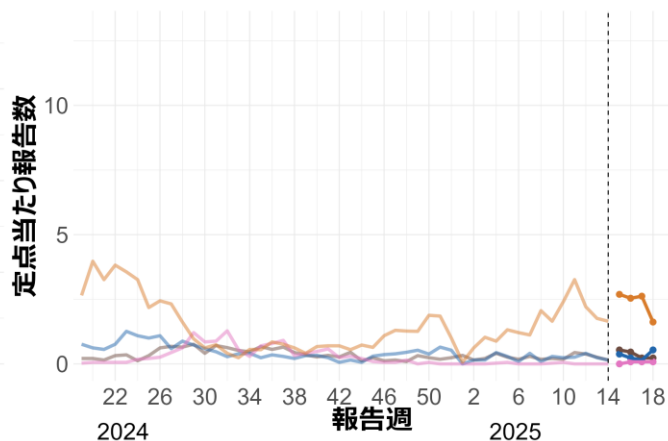
宮城県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



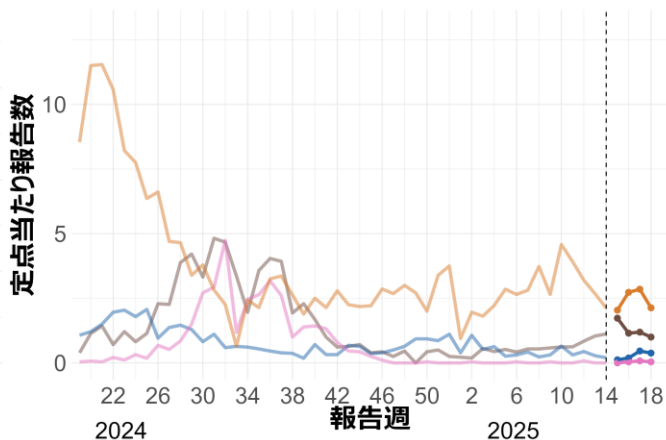
秋田県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



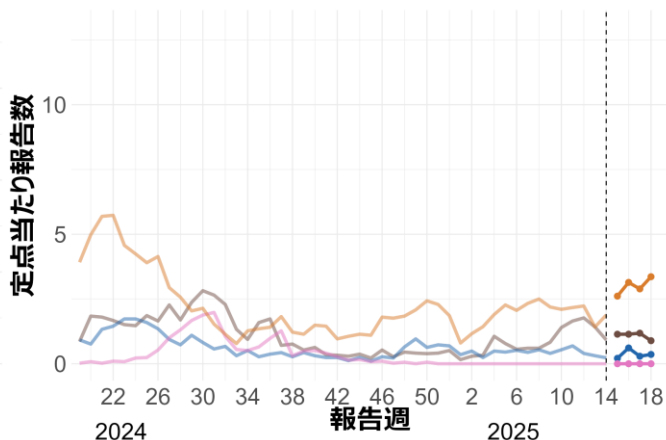
山形県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



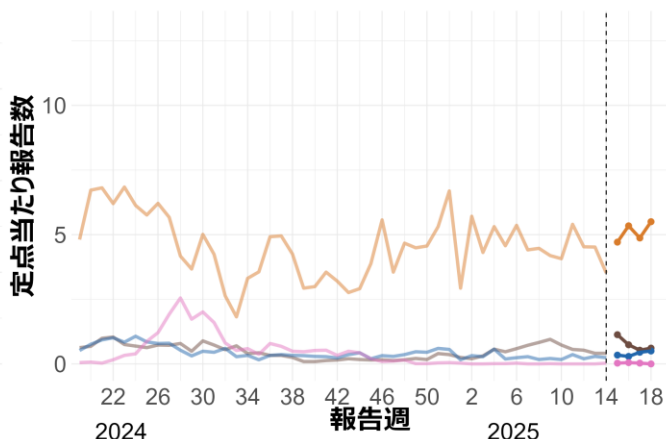
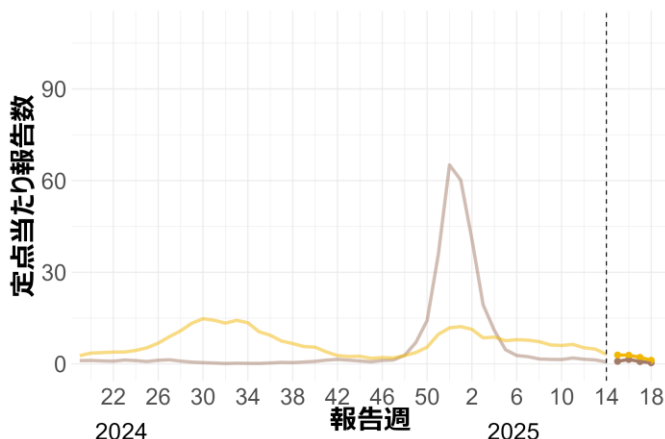
福島県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



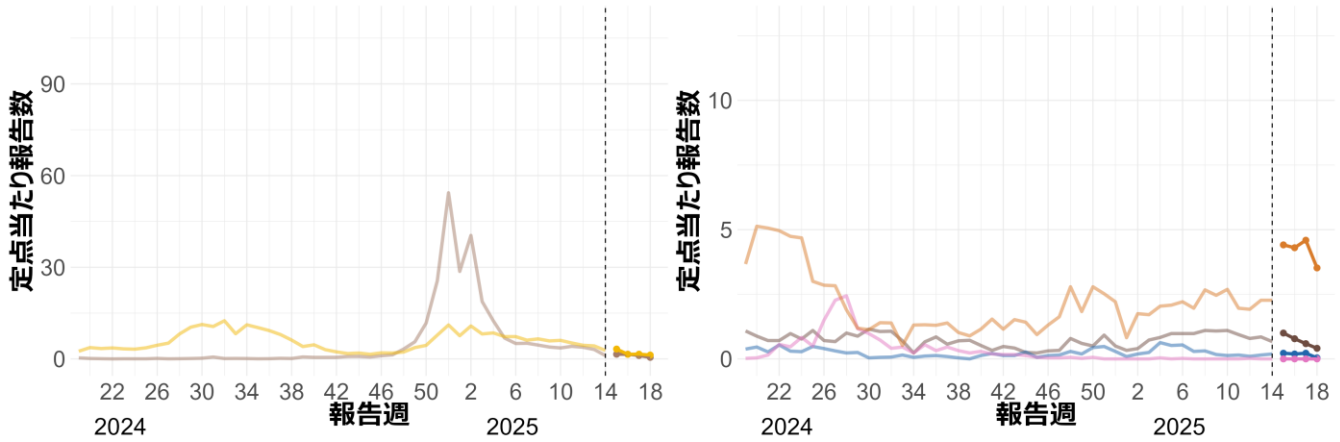
茨城県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



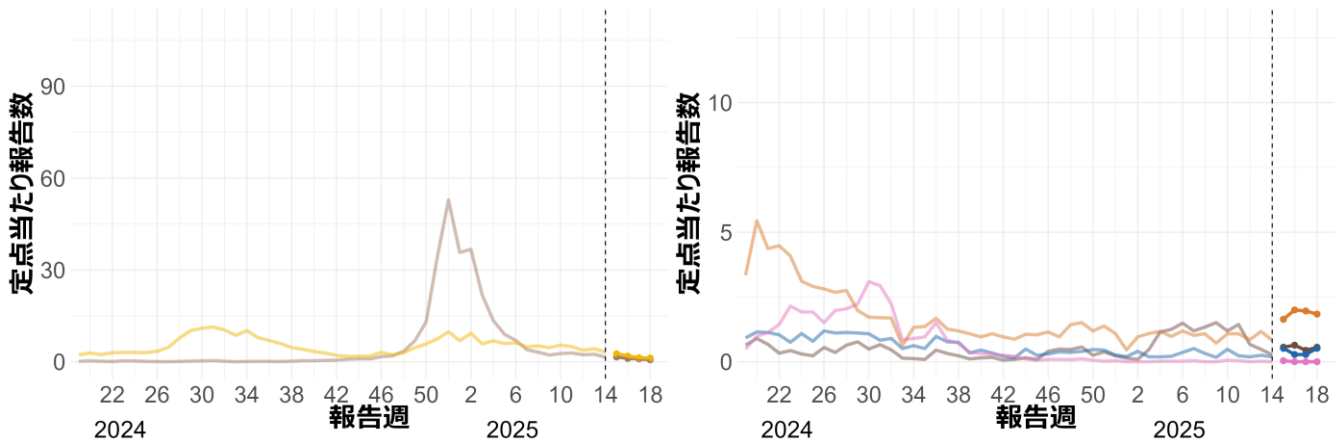
栃木県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



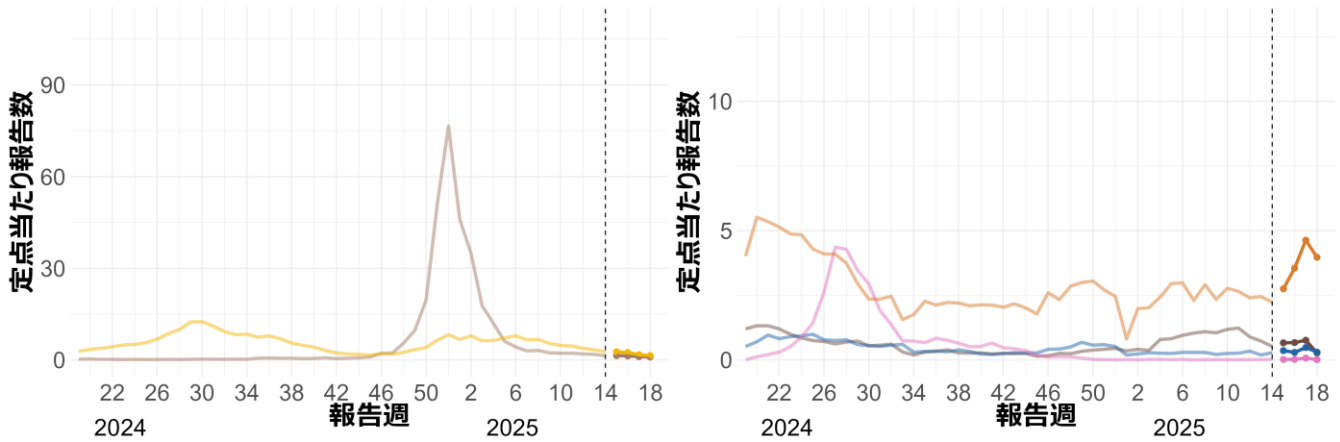
群馬県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



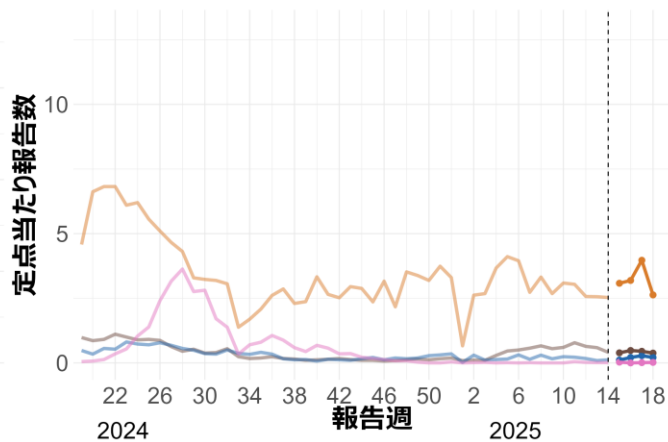
埼玉県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



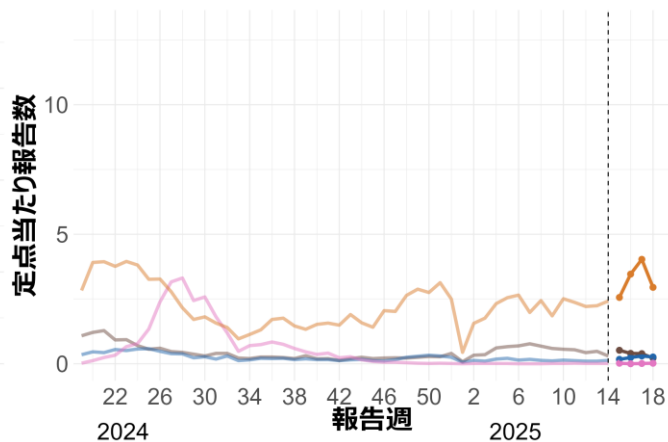
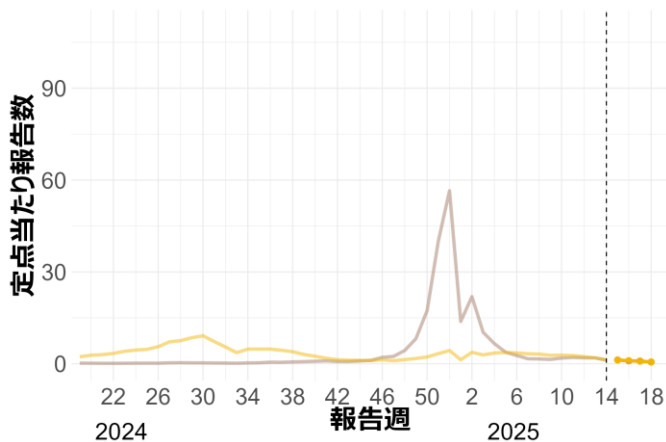
千葉県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



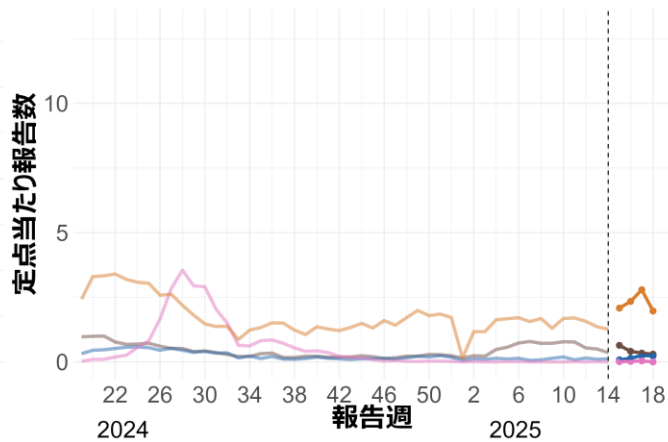
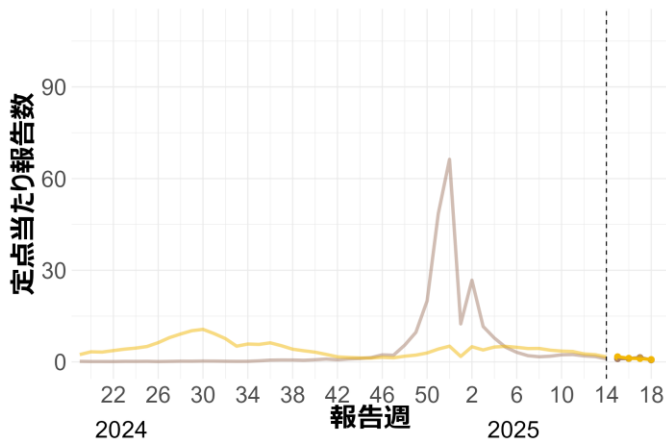
東京都

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



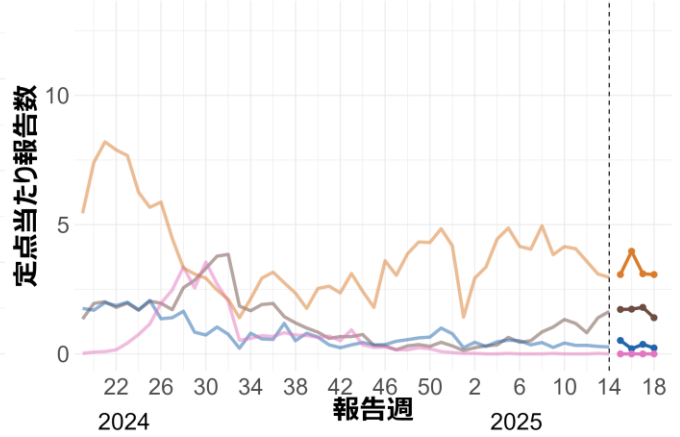
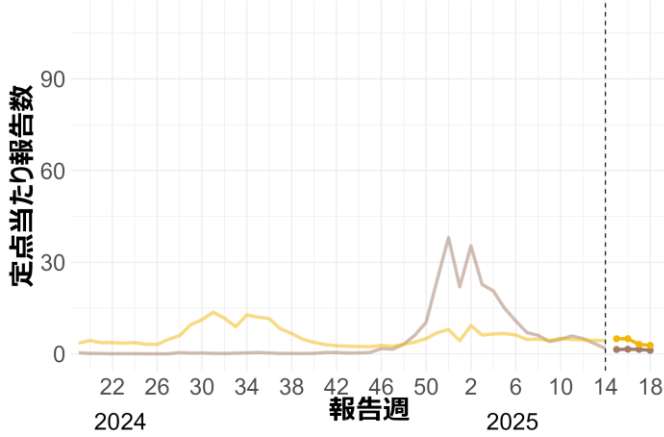
神奈川県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



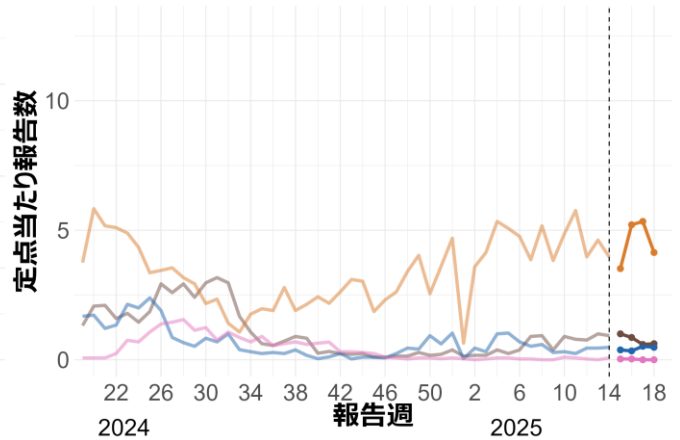
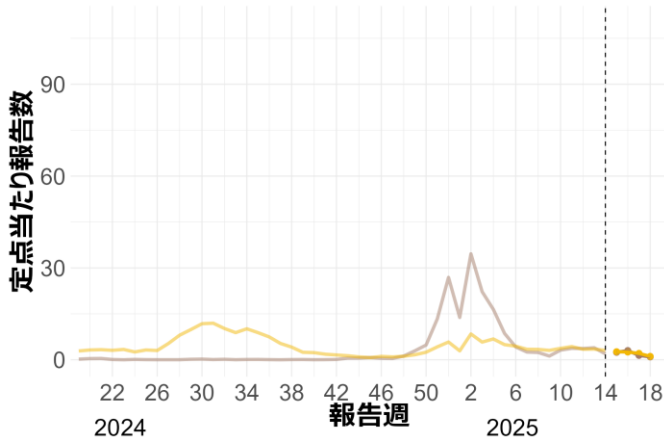
新潟県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



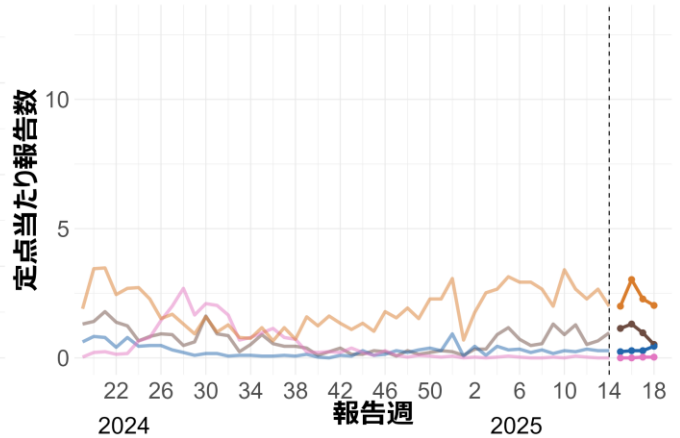
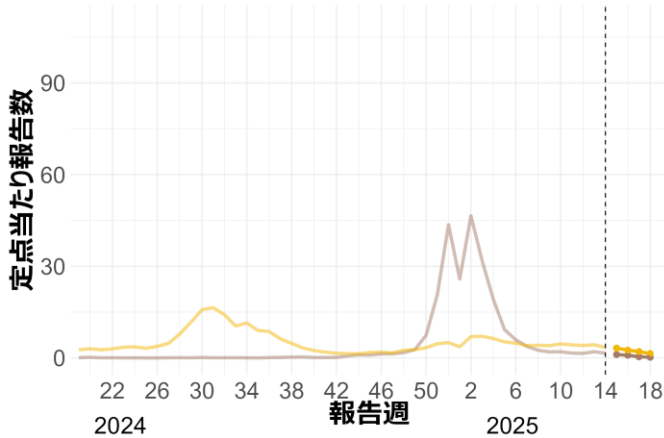
富山県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



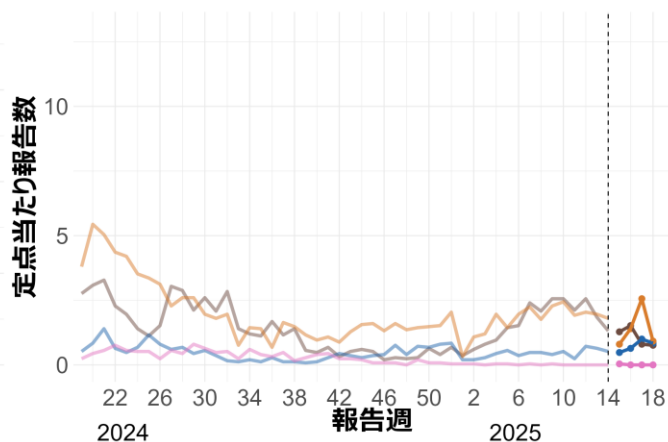
石川県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



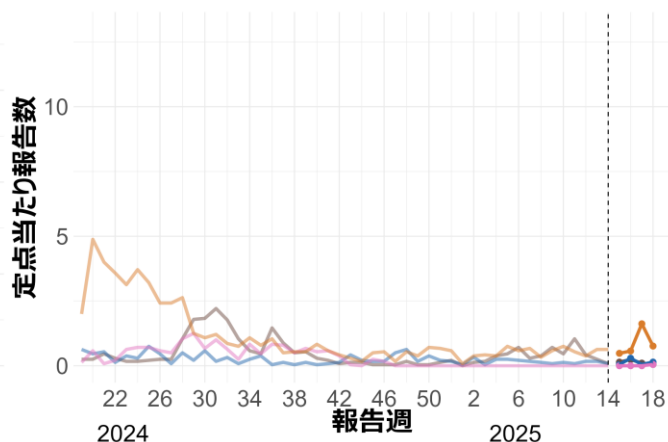
福井県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



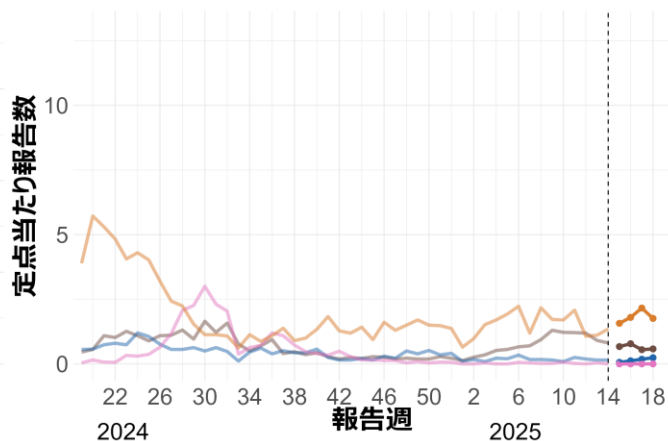
山梨県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



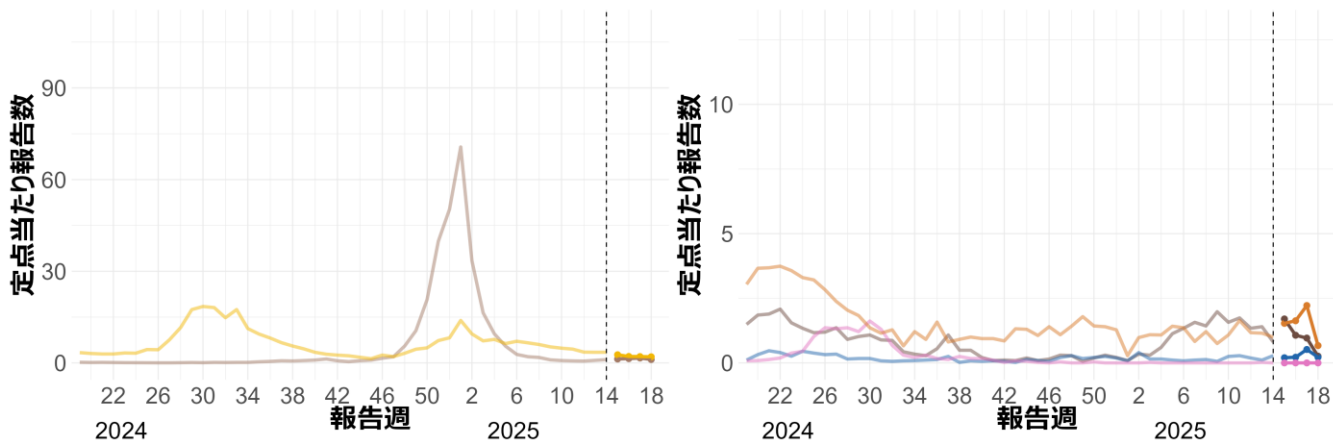
長野県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



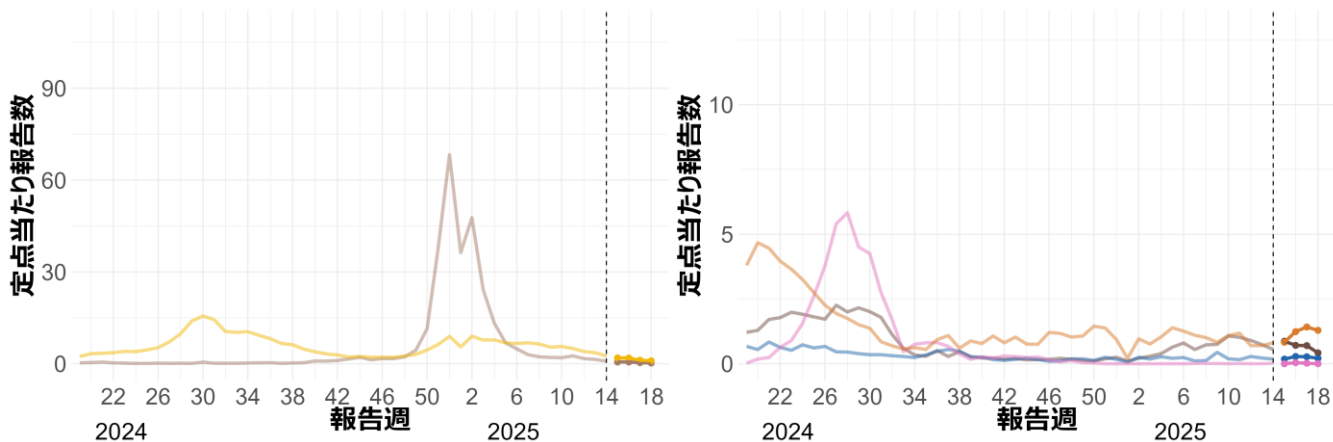
岐阜県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



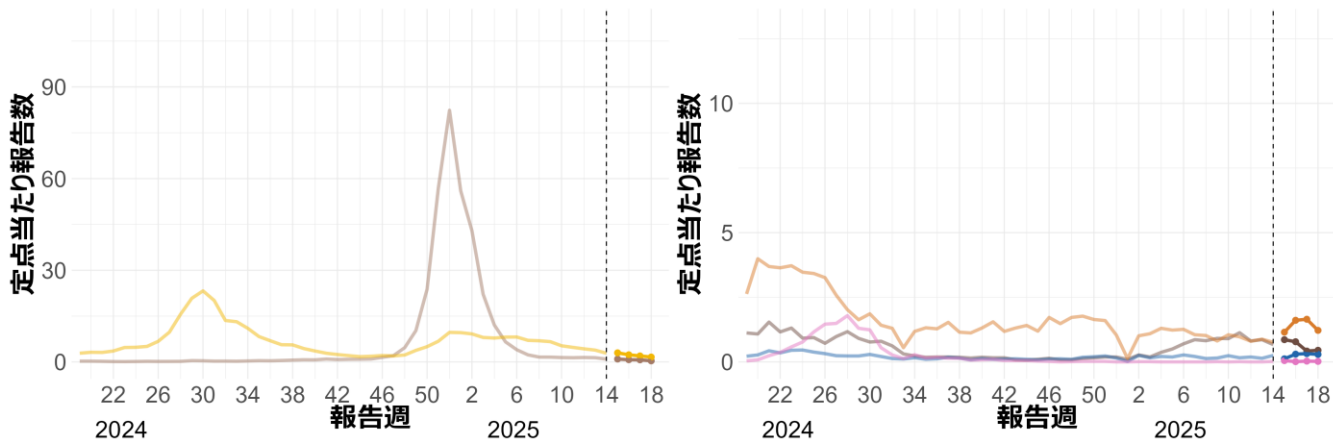
静岡県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



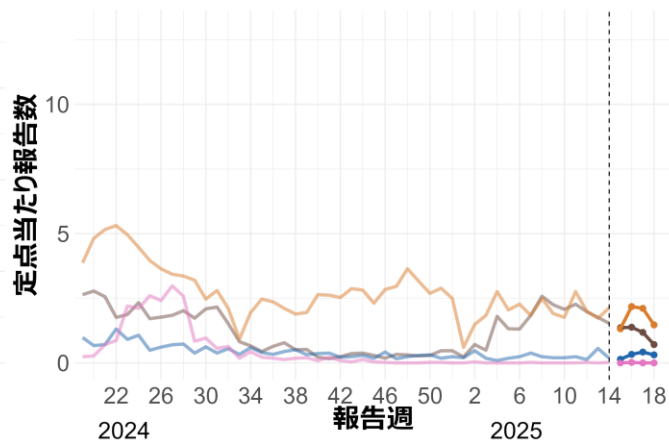
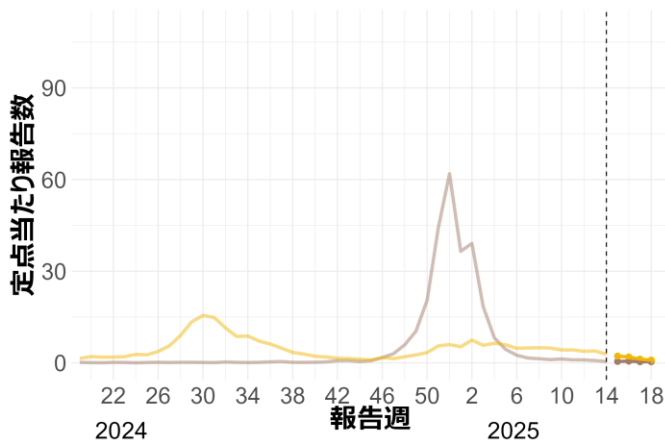
愛知県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



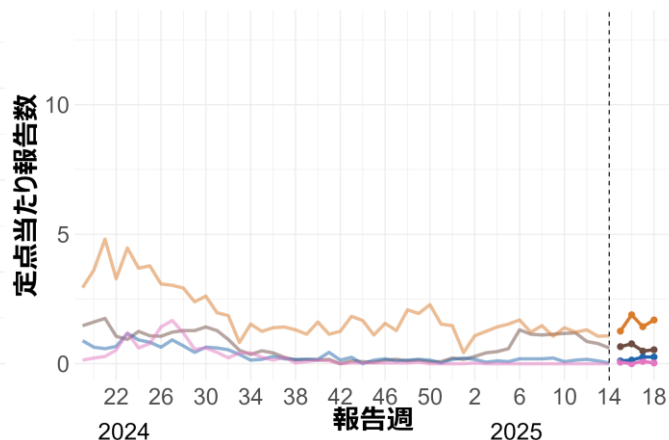
三重県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



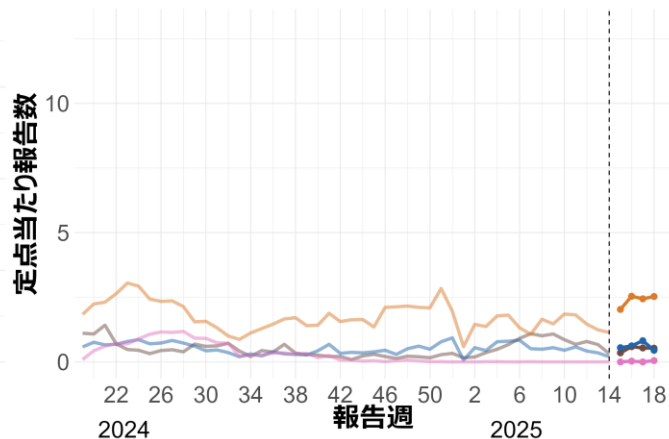
滋賀県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



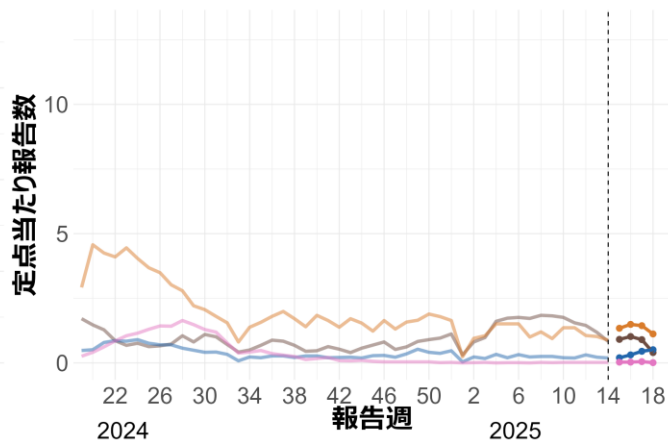
京都府

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



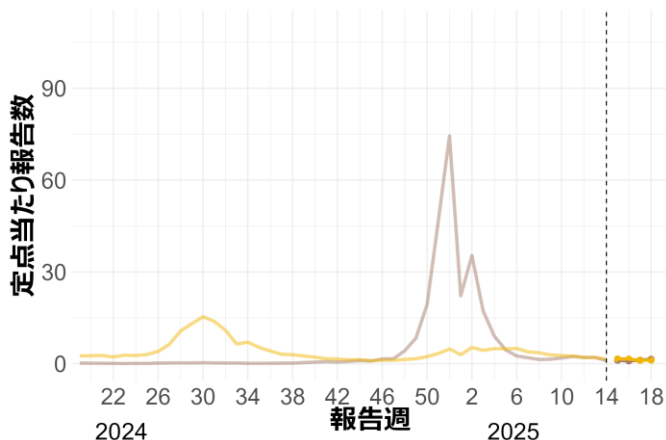
大阪府

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



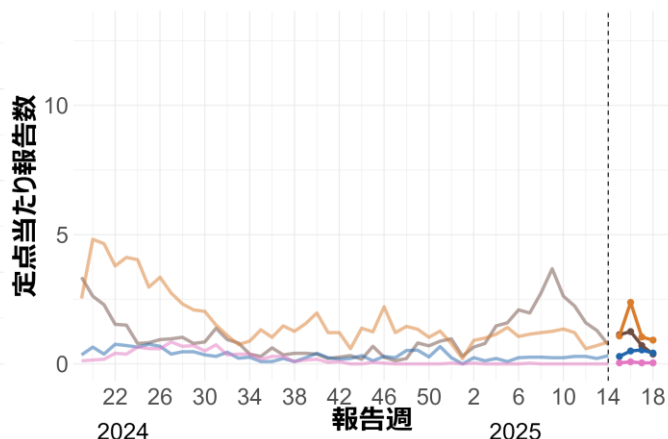
兵庫県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



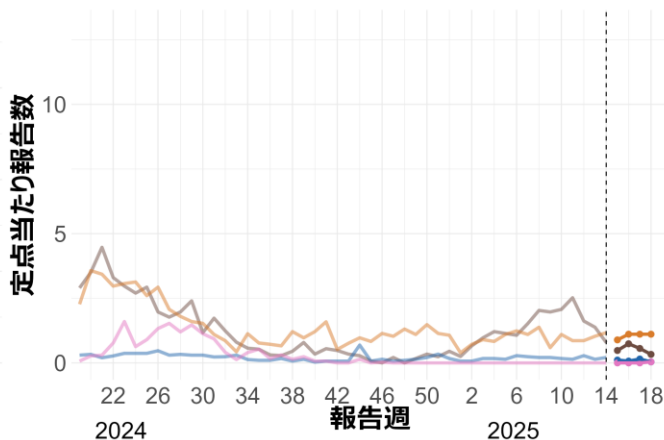
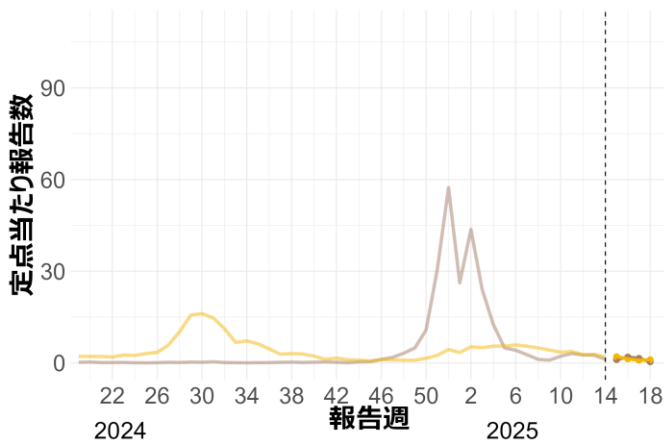
奈良県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



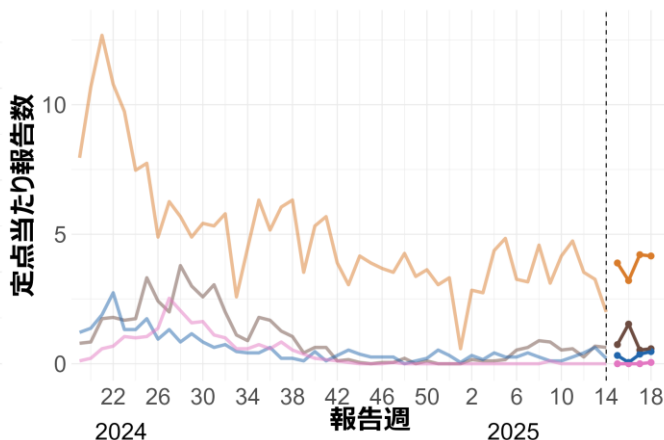
和歌山県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



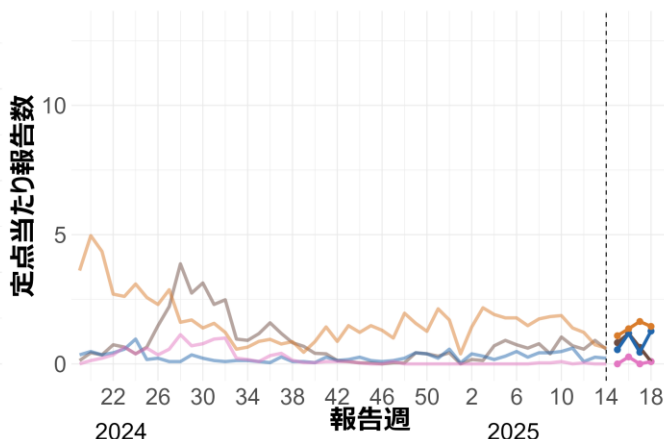
鳥取県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



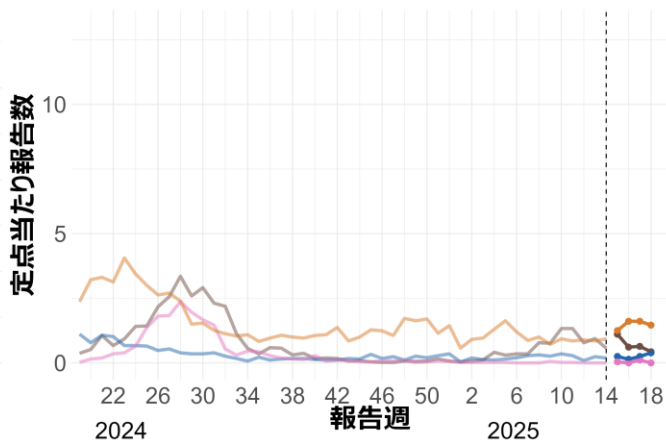
島根県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



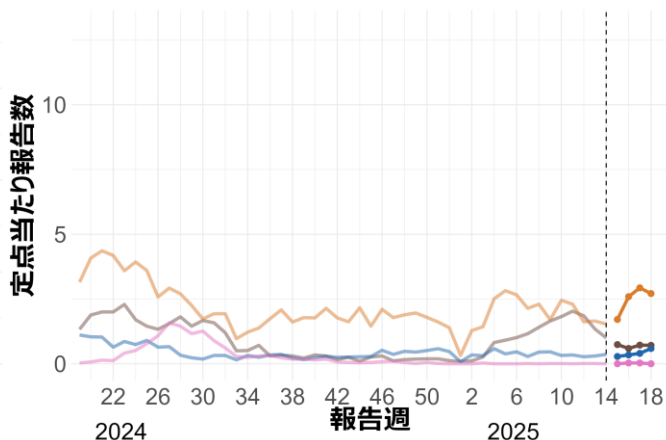
岡山県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



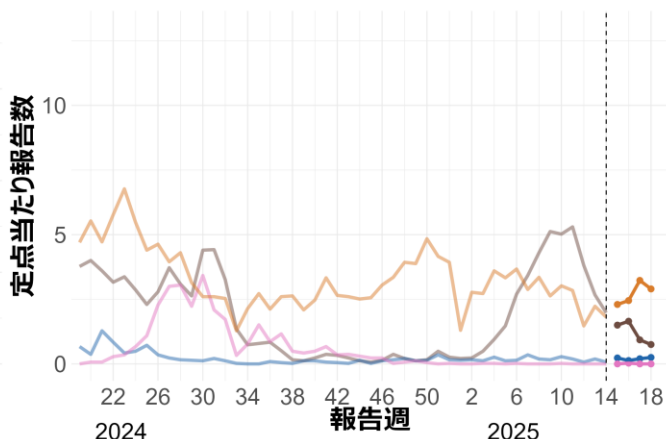
広島県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



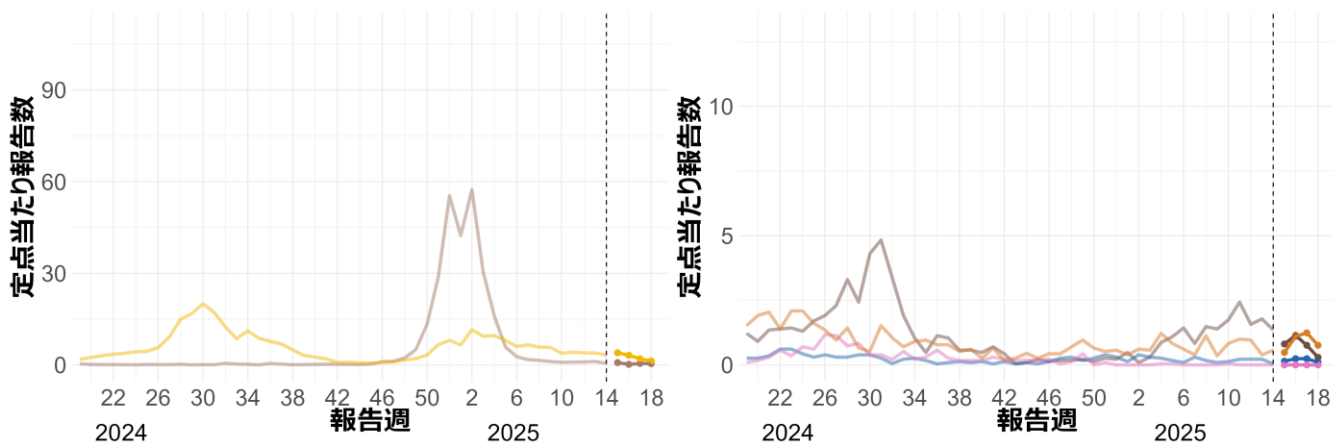
山口県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



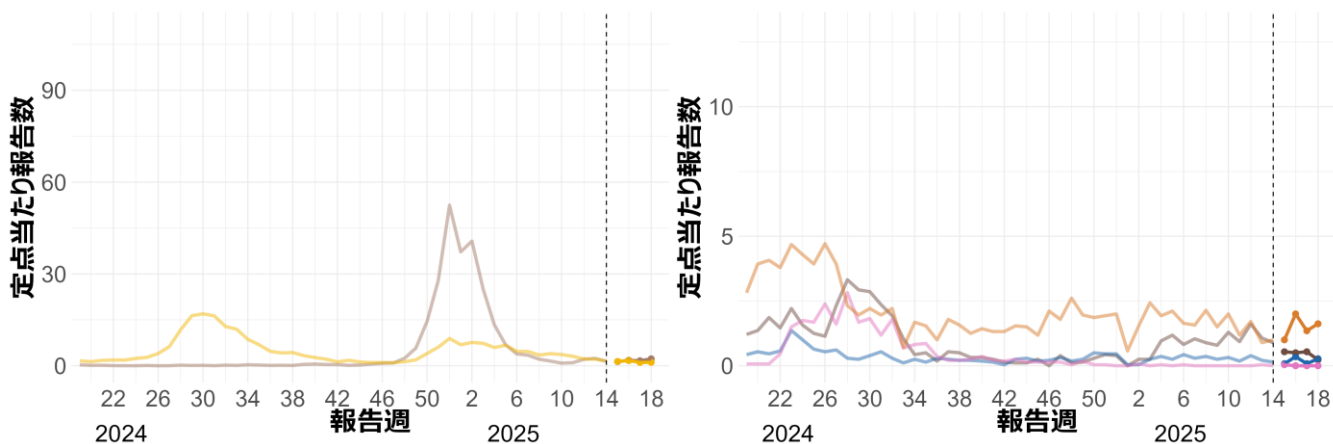
徳島県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



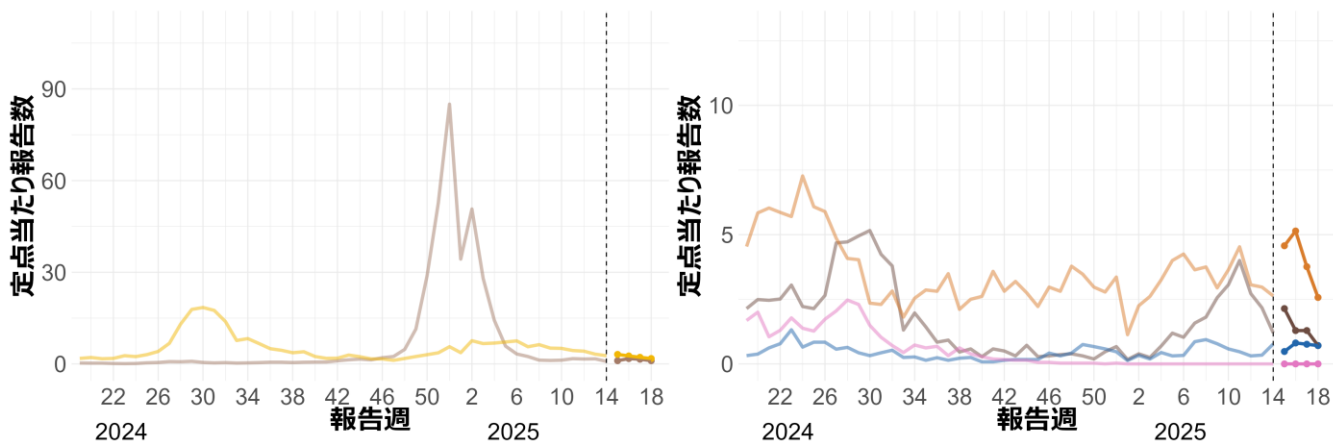
香川県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



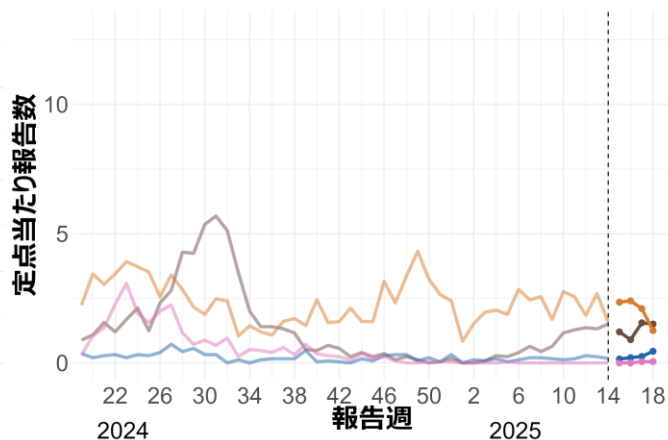
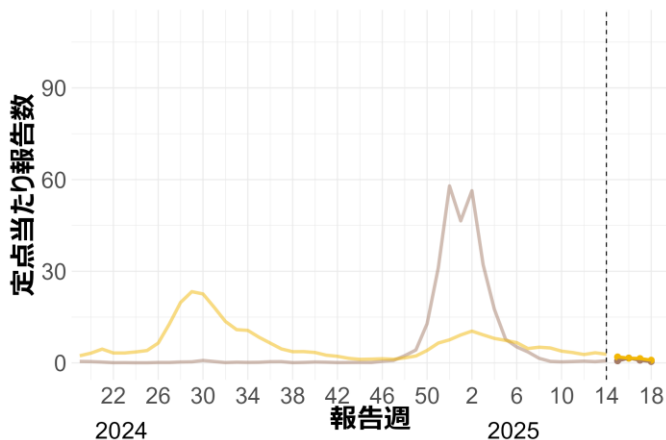
愛媛県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



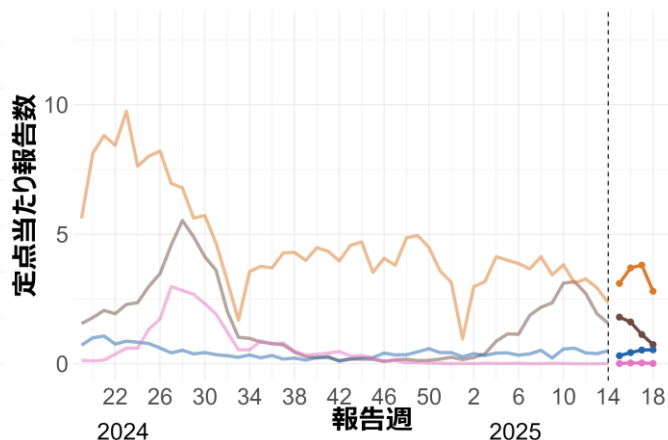
高知県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



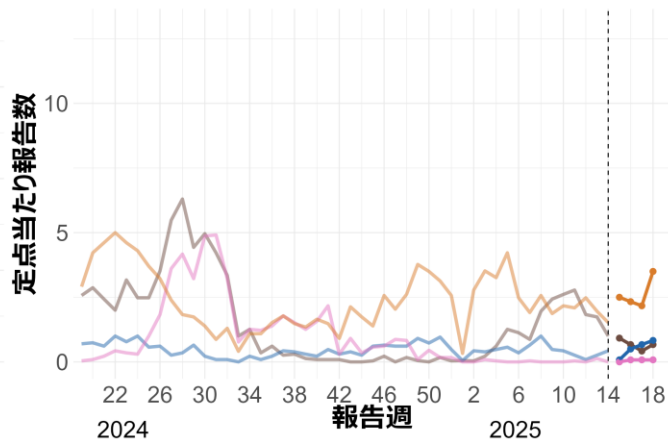
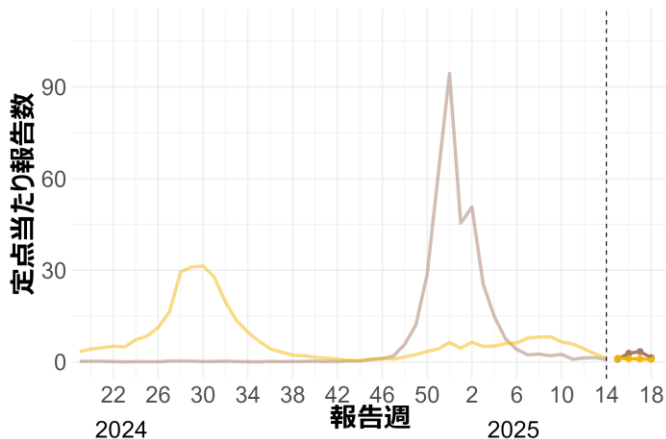
福岡県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



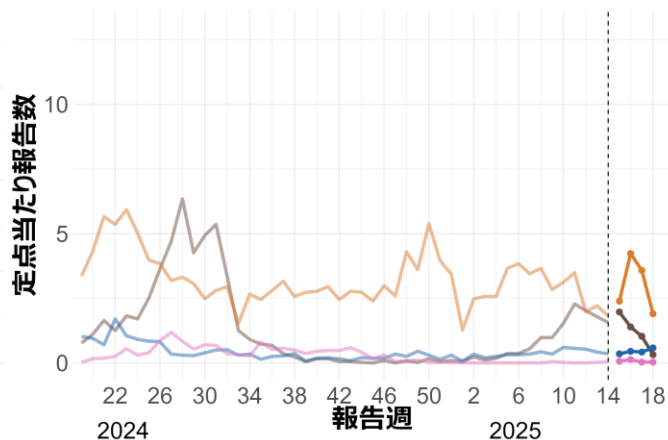
佐賀県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



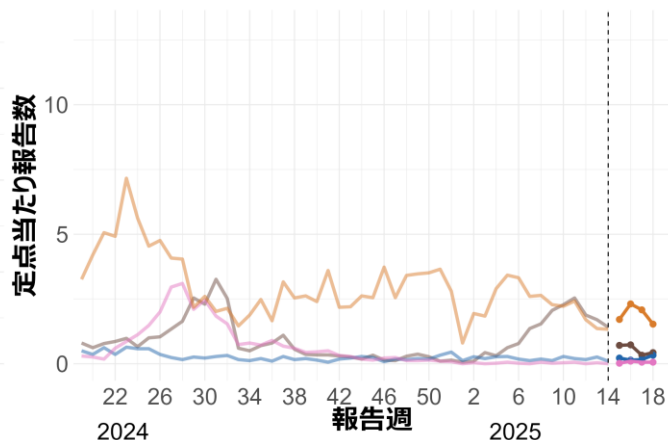
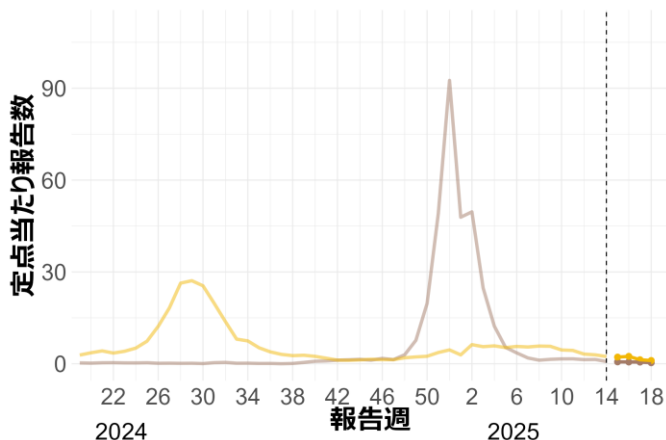
長崎県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



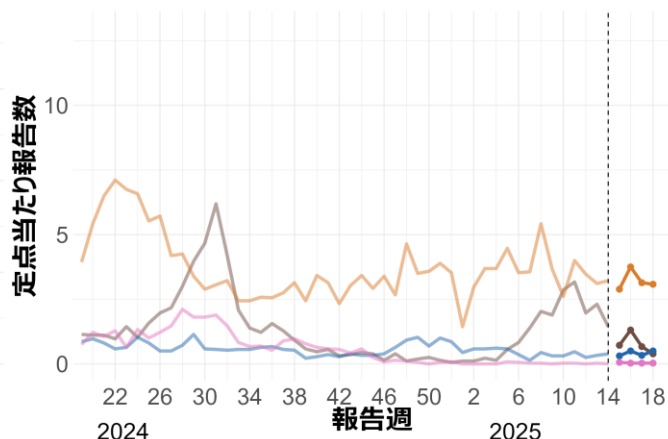
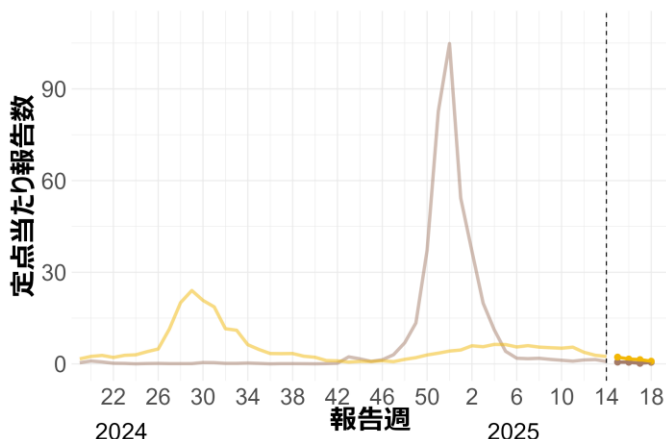
熊本県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



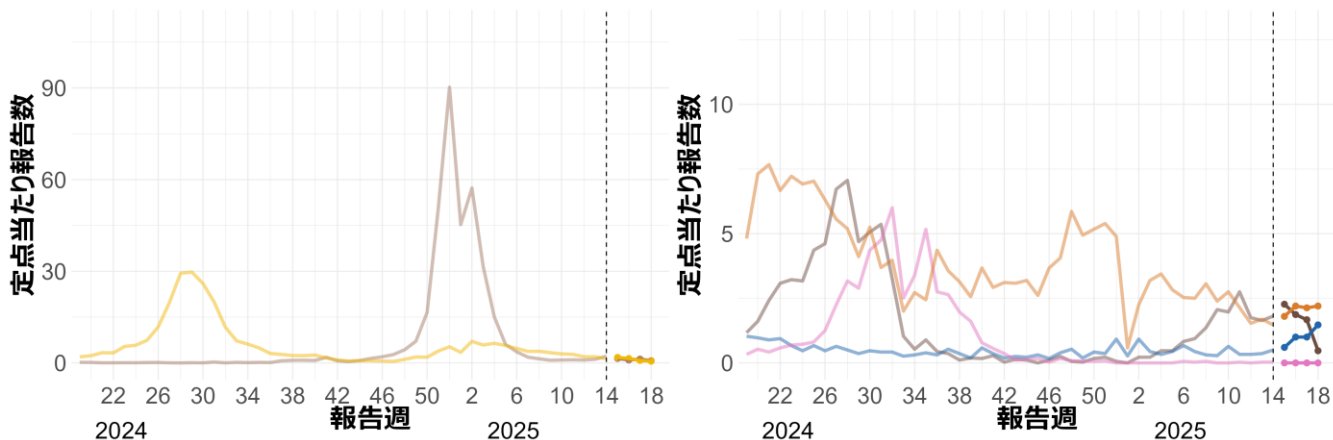
大分県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



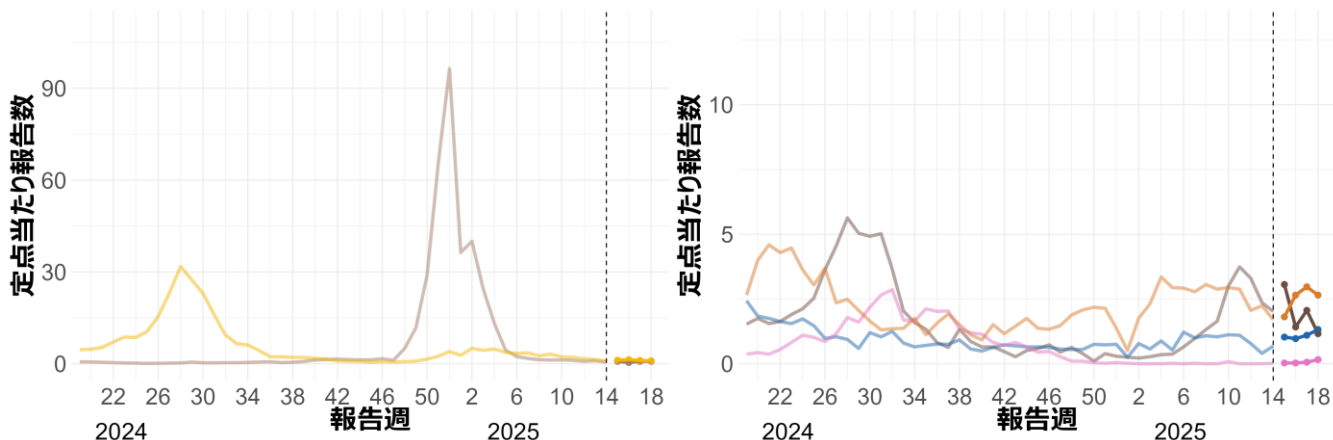
宮崎県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



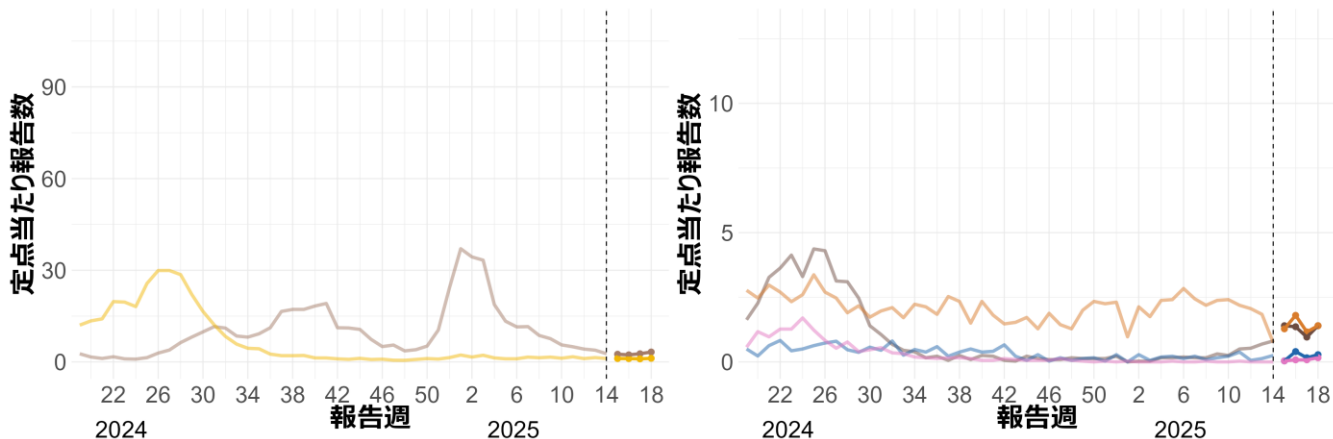
鹿児島県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



沖縄県

インフルエンザ COVID-19 RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 ヘルパンギーナ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



出典: 感染症発生動向調査(2025年5月8日時点, データ範囲: 2024年5月6日~2025年5月4日)

注) 報告数は、当該週の IDWR で還元したデータの再掲である。

注) 定点数の変更をうけて、2025年第14週および第15週の間に点線を入れ、濃淡で区別している。

注)2025年4月7日(第15週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点(約5,000 医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約3,000 医療機関)に変更、小児科定点は約3,000 医療機関から約2,000 医療機関に変更された。